令和８年度

練馬区の就学相談と特別支援学級（小学校）



練 馬 区 教 育 委 員 会

教育振興部　教育福祉課

目　　次

1　就学相談の流れ …… 2
2　練馬区の特別支援学級 …… 4
3　特別支援学級設置校一覧 …… 6
4　特別支援学級設置校配置図 …… 7
5　学級案内

知的障害学級
みらい青空学園(小学部)（あさひ学級） …… 8
豊玉第二小学校（コスモス学級） …… 9
開進第二小学校（あおぎり学級） …… 10
北町小学校（すまいる学級） …… 11
練馬第三小学校（かしわ学級） …… 12
練馬東小学校（すずしろ学級） …… 13
光が丘春の風小学校（のぞみ学級） …… 14
光が丘第八小学校（わかば学級） …… 15
石神井西小学校（わくわく学級） …… 16
上石神井北小学校（みつば学級） …… 17
谷原小学校（くすのき学級） …… 18
大泉小学校（５組） …… 19
大泉第三小学校（いちょう学級） …… 20
大泉東小学校（さくら学級） …… 21
大泉学園小学校（ひまわり学級） …… 22
南田中小学校（みなみん学級） …… 23

特別支援教室拠点校
みらい青空学園(小学部) …… 27
豊玉南小学校 …… 27
開進第一小学校 …… 27
南町小学校 …… 28
練馬第三小学校 …… 28
田柄小学校 …… 28
光が丘四季の香小学校 …… 29
光が丘春の風小学校 …… 29
石神井小学校 …… 29
石神井東小学校 …… 30
谷原小学校 …… 30
関町小学校 …… 30
大泉小学校 …… 31
大泉第三小学校 …… 31
大泉第六小学校 …… 31
大泉学園小学校 …… 32
八坂小学校 …… 32

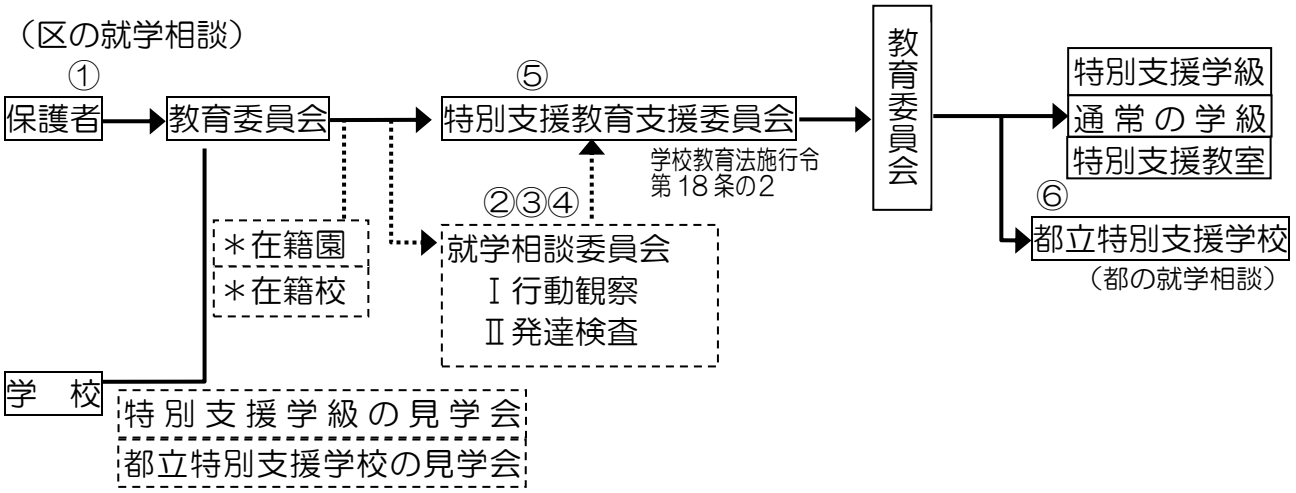
難聴学級(きこえの教室)
みらい青空学園(小学部) …… 34
石神井小学校 …… 36

言語障害学級(ことばの教室)
南町小学校 …… 38
北町西小学校 …… 40
石神井小学校 …… 42
関町北小学校 …… 44
大泉小学校 …… 46

弱視学級
中村西小学校 …… 48

6　近隣の国・公・私立特別支援学校一覧 …… 50

就学相談の流れ（小・中学校共通）



① 保護者から就学面談を予約していただきます。予約は、Web にて受け付けます。なお、４月～７月に Web 受付期間があります。その後、関係書類（就学支援ファイル等）を郵送しますので、ご記入いただき、ご返送ください。その内容に基づき、就学面談を行います。

② お子様、保護者と面談（就学面談）の上、行動観察、発達検査や成育歴、保護者の意向等を資料にまとめます。また、保護者のご了解を得て、在籍する幼稚園や保育園などから資料を求めます（就学相談委員会）。初回面談後、必要に応じて、医師面談を行う場合があります。

③ 小集団の中でのお子様の様子を観察し、改めて保護者のご意向の確認をするため、特別支援学級、特別支援教室を設置している学校長との面談等（就学相談会）を通して、相談資料をまとめていきます（就学相談委員会）。

④ 相談資料に基づいて検討を行い、お子様にとって望ましいと考えられる就学先について判断し、保護者へ提案いたします。その後、具体的な就学先について保護者と話し合いを進めていきます。（就学相談委員会）。

⑤ 当年度の就学相談の全体的な結果について、審議を行い、就学先が決定します（特別支援教育支援委員会）。

⑥ 区の相談の結果、都立特別支援学校を希望することになった場合、都の就学相談に引き継ぐための関係資料を都に送付します。その後、都の就学相談を受けていただくことになります。

※ 保護者のお考えと異なるご提案の場合は、種々の資料に基づいて十分保護者と話し合いを重ねます。

※ 具体的な就学先（学校名）については、区教育委員会が、特別支援教育支援委員会の判断に基づき、通学上の安全面や負担を考慮し、保護者のご意向を踏まえて相談をさせていただきます。実際には、就学を希望される学級の見学や体験を通しながら決めていきます。

※ 都立特別支援学校（知的障害）につきましては、お住まいにより学区域があり、都立高島特別支援学校または都立石神井特別支援学校になります。都立特別支援学校（肢体不自由）は、都立大泉特別支援学校、都立志村学園（肢体不自由教育部門）になります。

［特別支援教育支援委員会］

お子様に望ましいと思われる就学ができるように、各分野の専門の先生方で構成する特別支援教育支援委員会を設置しています。

（構成員）

◇医師
◇特別支援学級、特別支援教室（拠点校）を設置している学校の校長・教員
◇都立特別支援学校の教員
◇学校教育支援センター相談員
◇福祉・教育施設関係職員（保育園・幼稚園・こども発達支援センター）
◇教育委員会事務局担当（教育指導課・学務課）

就学相談（相談から学校が決まるまでの流れ）〔小学校〕

練馬区教育委員会では、下記の流れにそって就学相談を進めてまいります。相談を進めるに当たっては、お子様の様子をできるだけ確実に把握し、保護者のお考えを大切にしながら行っていきますので、ご協力をお願いいたします。

なお、特別支援学級（難聴学級・弱視学級・言語学級）については、別途就学相談係へお問い合わせ下さい。

受　付

◆就学面談日を予約していただきます。
◆なお、4月～7月にWeb受付期間があります。（7月末まで・先着順）

◆面談日のお知らせとともに、就学支援ファイル・就学相談票・面接票・面接補助票・承諾票等を送付します。必要事項をご記入の上、提出していただきます。

都立特別支援学校をご希望される場合も、初めに練馬区の就学相談を受けていただいてから、東京都の就学相談を受けられるようになります。

就学相談

就学面談

◆特別支援教室・特別支援学級（知的）・都立特別支援学校のご案内
◆就学相談の進め方の説明
◆特別支援学級（知的）の見学会のご案内（5月～7月）
◆個別にお子様の様子を見させていただきます（行動観察、発達検査）
◆保護者面談を行います。
◆保護者のご了解を得て、在籍園等にお子様の日常の様子について所見を求めます。

＊都立特別支援学校への就学をお考えの方は東京都の相談につなぎます。

就学相談会

◆小グループの中でのお子様の様子を見させていただきます。（集団行動や運動面）
◆校長面談（特別支援学級設置校・特別支援教室設置校）を行います。

相談の結果を提案します

保護者のお考えと異なる提案が出た時は、保護者と十分話し合いを重ね、就学先を決めていきます。

◆必要に応じて、特別支援学級（知的）や都立特別支援学校の見学や体験についてご案内します。

就学先決定

◆特別支援学級に就学する場合は入級決定通知書を送付いたします。

幼保・小学校との連携

◆就学支援ファイルを就学先学校に送付します。（任意）

練馬区立小学校の特別支援学級・特別支援教室

特別支援学級（知的）は、小学校 16 校に設置されている学級です。

特別支援学級は、一人一人の児童の状態や特性などに応じ、通常の学級とは異なる教育課程で教育を行っています。また、運動会等の学校行事は、通常の学級の児童と交流を深めています。

特別支援教室は、全小学校に設置されている教室です。

練馬区立小学校には、次の特別支援学級・特別支援教室が設置されています。

（1） 特別支援学級（知的） 16 校【固定学級】 ※令和９年度から１７校
（2） 特別支援教室 65 校
（3） 特別支援学級（難聴） ２校【通級学級】
（4） 特別支援学級（弱視） １校【通級学級】
（5） 特別支援学級（言語） ５校【通級学級】

特別支援学級（知的） 【固定学級】

特別支援学級（知的）は、知的発達の遅れの状態が比較的軽度の児童を教育するために設置された学級です。軽度の知的障害とは、日常生活に差し支えない程度に、身辺のことがらを処理できますが、抽象的な思考などが困難である状態のことをいいます。

具体的には、小学校入学にあたって、時間の概念が理解できなかったり、比較的短い文章の全体的な内容を理解し、まとめて話したりすることが困難な状態です。また、同時に、家庭生活や学校生活におけるその年齢の段階で求められる食事や衣服の着脱、排せつや簡単な片づけ、身の回りの道具の活用などにはほとんど支障のない程度です。

指導内容

健全な身体づくり、基本的な生活習慣の確立、社会生活に必要な言語・数量などの基礎的な知識・技能・態度を身につけることなどを重視しています。また、宿泊学習をとおして、身近な自然現象や社会事象に対する関心を高め、学校における学習を実際の生活場面に生かせるよう配慮しています。

特別支援教室

特別支援教室は、知的にはそれほど遅れていないのに注意力や集中力が散漫な子、座席からすぐ離れて自分の興味のあるところに行ってしまう子、一つのことにこだわるとなかなか気持ちの切替えができない子、悪気ではないのに友だちとトラブルになりやすい子、学習の一部にだけ落ち込みがある子、おしゃべりは上手なのに書くことや作業能力に課題がある子、情緒的な不安により選択性緘黙の子などが対象になります。通常の学級での集団学習だけでは学校生活に適応が難しい児童を対象としています。

指導内容

一人一人の児童にあった指導内容を、個別指導の形で行います。また、集団適応や社会性を身につけるためにグループによる指導もしています。具体的には、失敗経験による苦手意識の克服、生活・学習全般にわたる意欲を育てながら自信を回復できるような学習内容を組んでいます。対人関係や社会性を広げるための学習もします。また、集中力や手先の器用さ等を育てるための作業学習も取り入れています。

特別支援学級（難聴）　【きこえの教室・通級学級】

きこえの教室は、聴覚障害の程度が比較的軽度の児童を教育するために設置している学級です。概ね両耳の聴力損失が 100ﾃﾞｼﾍﾞﾙ未満 60ﾃﾞｼﾍﾞﾙ以上で補聴器を使用すれば通常の話声を解するに著しい困難を感じない程度をいいます。あるいは 60ﾃﾞｼﾍﾞﾙ未満であっても、補聴器を使用しても通常の話声を解することが困難な程度をいいます。

指導内容

きこえの教室では、残存聴力の活用を図る指導、正しい発音・発語の仕方を系統的に育てる指導、言語の理解力や表現力を伸ばす言語指導、補聴器の適切な扱い方の指導を行っています。

一人一人の障害の状態を把握するために聴力測定、発音・発語の状態、言語の習得状況などについて、諸検査を実施し、専門的な判断に基づき、個別指導をしています。

特別支援学級（弱視）　【目の教室・通級学級】

目の教室は、矯正視力がおおよそ 0.1 以上 0.3 未満の児童を教育するために設置している学級です。

指導内容

目の教室では，児童一人一人が自分の視力を十分活用して、効果的な学習が行えるよう照明や書見台などに工夫を加えて、見やすい条件を整えています。

また、上手な見方を育てるために、各種の拡大レンズや教材拡大映像装置などの活用を図っています。

特別支援学級（言語）　【ことばの教室・通級学級】

小学校のみに設置されています。ことばの教室は、構音障害、吃音、ことばの遅れなどの言語障害のある児童を教育するために設置しています。

指導内容

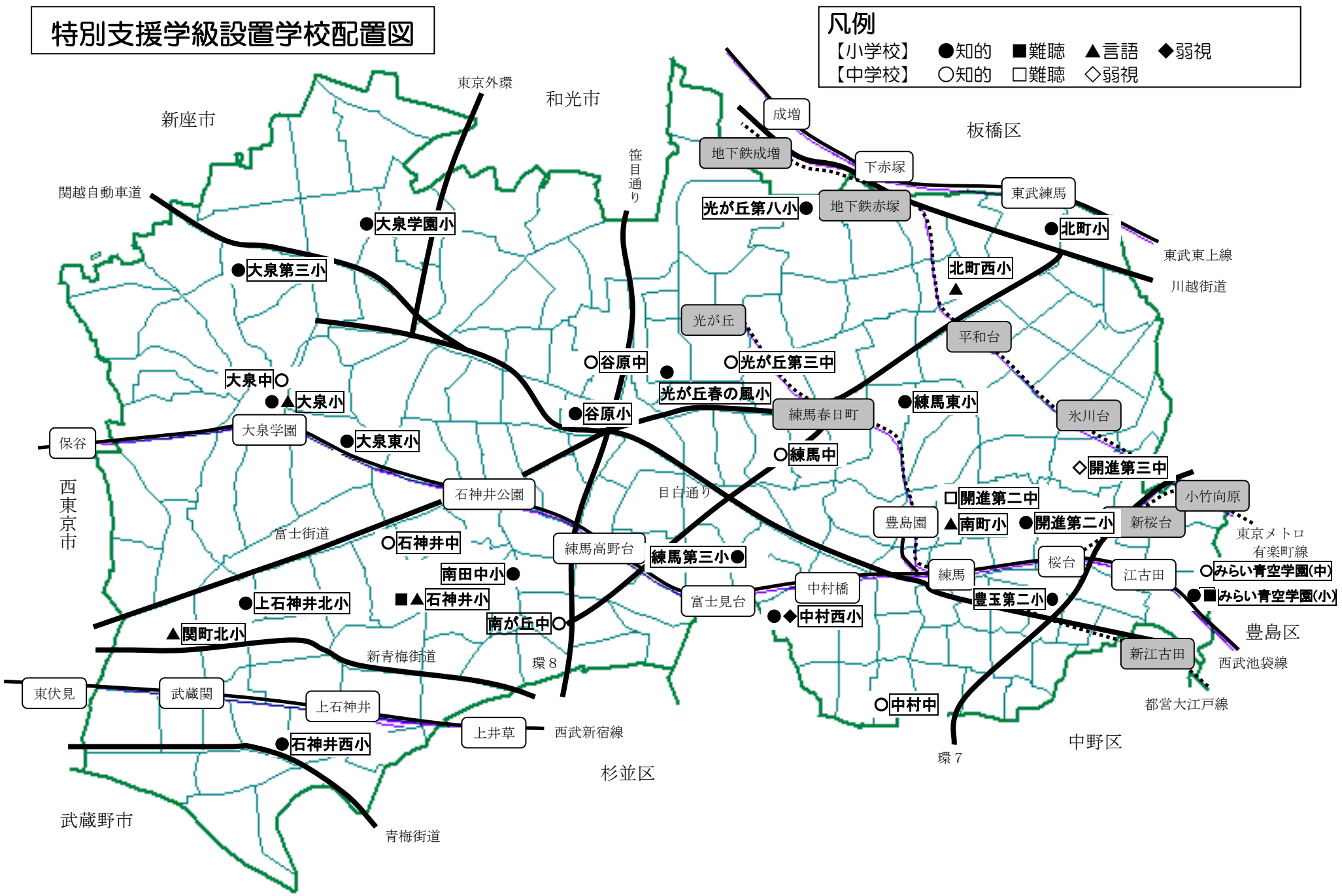
ことばの教室では、教師と児童・生徒との１対１の指導を中心に、一人一人の障害の状態に応じた指導を行っています。ことばの発達が遅れている場合は、できるだけ遊びや日常の生活体験と結びつけた言語の基礎的な指導を重視しています。構音障害の場合は、発音、発語指導が主な内容となっていますが、できるだけ楽しい雰囲気の中で話すことへの意欲を高め、正しい言語表現の定着を図っていきます。

特別支援学級設置校一覧

令和８年４月１日現在

学級名	学校名	校長名	住所	職員室電話番号	障害種別	学級電話番号
あさひ学級 えご花ルーム きこえの教室	みらい青空学園 （小学部）	坂本　司	〒176-0005 旭丘2-40-1	3957-2151	知的障害学級 特別支援教室拠点校 難聴学級	3974-8000 3972-4815
コスモス学級	豊玉第二小学校	坪倉　一雄	〒176-0011 豊玉上2-16-1	3993-0421	知的障害学級	3993-0450
あおぎり学級	開進第二小学校	髙石　直貴	〒176-0002 桜台5-10-5	3993-2425	知的障害学級	3993-2428
すまいる学級	北町小学校	瀧嶋　克己	〒179-0081 北町1-14-11	3932-3296	知的障害学級	3932-3295
かしわ学級 ポプラルーム	練馬第三小学校	石神　徹	〒176-0021 貫井1-36-15	3970-5641	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3970-0668
すずしろ学級	練馬東小学校	幅　健司	〒179-0074 春日町1-30-11	3990-9142	知的障害学級	3990-9149
のぞみ学級 ひかりルーム	光が丘春の風小学校	内木　勉	〒179-0072 光が丘7-2-1	3976-5861	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3976-6210
わかば学級	光が丘第八小学校	窪田　尚子	〒179-0072 光が丘1-4-１	5997-4828	知的障害学級	5383-8081
わくわく学級	石神井西小学校	高野　博文	〒177-0051 関町北1-1-5	3920-0382	知的障害学級	3920-0378
みつば学級 くりのみ学級	上石神井北小学校	濱中　一	〒177-0045 石神井台5-1-32 （くりのみ学級は 石神井学園内）	3920-1011	知的障害学級 自閉症・情緒障害学級	3920-0999 3996-6720
くすのき学級 やわらぎルーム	谷原小学校	伊藤　雄一	〒177-0032 谷原2-9-26	3997-3271	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3997-3228
5　組 いずみルーム ことばの教室	大泉小学校	小髙　敏男	〒178-0063 東大泉4-25-1	3924-0144	知的障害学級 特別支援教室拠点校 言語障害学級	3922-0241 3924-0261
いちょう学級 いずみルーム	大泉第三小学校	髙野　正之	〒178-0061 大泉学園町3-22-1	3925-2466	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3925-3222
さくら学級	大泉東小学校	小須田　哲史	〒178-0063 東大泉1-22-1	3922-1355	知的障害学級	3921-2938
ひまわり学級 あおぞらルーム	大泉学園小学校	本橋　教子	〒178-0061 大泉学園町4-7-1	3923-0006	知的障害学級 特別支援教室拠点校	3922-0502
みなみん学級	南田中小学校	菅野　僚	〒177-0035 南田中5-15-37	3997-1145	知的障害学級	3997-1157
みなみルーム	豊玉南小学校	長谷川　修	〒176-0014 豊玉南2-14-1	3993-6425	特別支援教室拠点校	3993-6425
あおば教室	開進第一小学校	海老沼　寛之	〒179-0085 早宮2-1-31	3932-3170	特別支援教室拠点校	3932-3170
つつじルーム ことばの教室	南町小学校	早渕　白輝	〒176-0001 練馬2-7-5	3993-2438	特別支援教室拠点校 言語障害学級	3993-4500
けやきルーム	田柄小学校	小松田　早苗	〒179-0073 田柄2-19-19	3939-0351	特別支援教室拠点校	3939-0351
こぶしルーム	光が丘四季の香小学校	繁田　幸江	〒179-0075 高松5-24-1	3977-2711	特別支援教室拠点校	3977-2711
さわやかルーム きこえとことばの教室	石神井小学校	椿田　克之	〒177-0045 石神井台1-1-25	3997-3277	特別支援教室拠点校 難聴学級 言語障害学級	3997-3279
ふたばルーム	石神井東小学校	武井　和幸	〒177-0035 南田中3-9-1	3997-3312	特別支援教室拠点校	3997-3312
かたくりルーム	関町小学校	横瀬　敬子	〒177-0051 関町北3-23-34	3929-1290	特別支援教室拠点校	3929-1293
ことばの教室	関町北小学校	原田　知樹	〒177-0051 関町北5-13-40	3920-1027	言語障害学級	3594-1231
いずみルーム	大泉第六小学校	檜垣　盛喜	〒178-0064 南大泉5-25-29	3925-2471	特別支援教室拠点校	3925-2471
わかたけルーム	八坂小学校	彌永　英俊	〒179-0076 土支田4-48-1	3922-7625	特別支援教室拠点校	3922-7625
ことばの教室	北町西小学校	風見　由起夫	〒179-0081 北町7-3-8	3932-7234	言語障害学級	3932-7631
目の教室	中村西小学校	工藤　智昭	〒176-0023 中村北4-17-1	3990-4237	弱視学級	3990-4254
D　組	みらい青空学園（中学部）	坂本　司	〒176-0005 旭丘2-40-1	3957-3133	知的障害学級	3955-2424
F　組	中村中学校	井上　春好	〒176-0025 中村南1-32-21	3990-4436	知的障害学級	3990-0990
6　組	練馬中学校	本杉　貴保	〒179-0075 高松1-24-1	3990-5451	知的障害学級	3990-5450
F　組	光が丘第三中学校	榮田　良晃	〒179-0072 光が丘3-2-1	3977-3521	知的障害学級	3977-3733
I　組	石神井中学校	山田　美鈴	〒177-0045 石神井台1-32-1	3997-3131	知的障害学級	3995-2103
E　組	南が丘中学校	金　誠一郎	〒177-0035 南田中4-8-23	3904-5782	知的障害学級	3904-5779
F　組	谷原中学校	鈴木　裕行	〒177-0032 谷原4-10-5	3995-8036	知的障害学級	3995-8074
10　組	大泉中学校	大槻　亨	〒178-0063 東大泉4-27-35	3924-0771	知的障害学級	3924-1003
若草ルーム	豊玉第二中学校	大野　雄一郎	〒176-0012 豊玉北2-24-5	3993-4212	特別支援教室拠点校	3994-1349
よつば	練馬東中学校	荒井　友香	〒179-0074 春日町2-14-22	3998-0231	特別支援教室拠点校	3998-3680
MY STEP UP ROOM	上石神井中学校	蓮池　和彦	〒177-0044 上石神井4-15-27	3920-1126	特別支援教室拠点校	3920-6083
MY STEP UP ROOM	八坂中学校	代市　利光	〒179-0076 土支田4-47-21	3924-0399	特別支援教室拠点校	3923-9826
難聴学級	開進第二中学校	平野　茂	〒176-0001 練馬2-27-28	3993-1348	難聴学級	3993-1350
弱視学級	開進第三中学校	堀　健一	〒176-0002 桜台3-28-1	3993-4265	弱視学級	3993-4265

特別支援学級設置学校配置図



学校名　小中一貫教育校　みらい青空学園（小学部）　学級の名称：あさひ学級

校長　坂本　司　副校長　副校長　田﨑　清文・伊木　文枝・中島　裕人　所在地　旭丘２－４０－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
３	男	１	１	３	４	１	３	13
	女	１	０	１	２	０	１	５
	計	２	１	４	６	１	４	18

やさしい心

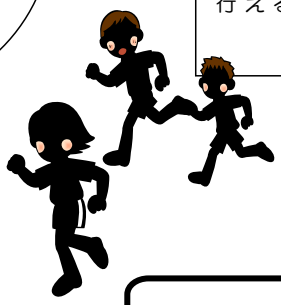
友達との関わりを大切に、思いやりをもてるよう、豊かな心を育てます。

一人でできることが増えて自信が育つ

あいさつ・食事・着脱など、自分のことは自分で行えるよう支援します。

勉強も生活もがんばれる

課題に対して、自分のこととしてすすんで取り組む心、最後までやり遂げる心を育みます。





あさひ学級

集団での関わり

高学年は低学年のお世話をし、集団での関わりの中で成長します。

通常学級との交流

たてわり班での活動や、体育・生活単元学習などでの、交流活動を行います。



子供たちに合った学習

国語・算数などの学習では、子供たちの課題に合わせてグループ別学習や個別学習を行っています。子供たちが「わかる」、「できる」と感じ、自信をもてるよう、支援します。

児童・生徒の交流活動

小中一貫教育校「みらい青空学園」として、中学部の特別支援学級（D組）の生徒との交流活動を行っています。
（給食交流　等）

保護者と共に、子供に向き合う教育

子供の実態にあった教育活動を実践していくために、個別指導計画と個別の教育支援計画を保護者と共に作り、指導・支援を行っています。



学校名　豊玉第二小学校　　学級の名称：コスモス学級

校長　坪倉　一雄　　副校長　白井　清孝　　所在地　豊玉上２－１６－１

☆学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	３	３	０	５	６	２	１９
	女	０	０	１	２	３	１	７
	計	３	３	１	７	９	３	26

コスモス学級



～ひとつひとつの花をさかせよう～

コ　子ども同士のかかわりを大切に

子ども同士のかかわりを大切にし、お互いのかかわり合い、認め合い、語り合い、励まし合い、学び合い…「あい」のある学級をめざします。

ス　好きなこと(興味関心)、できることをさらに伸ばそう

できないことの克服も大事ですが、それよりもできることを更に伸ばすことで、「やりたい」という意欲、「できた」という達成感を大切にしたいと考えます。

モ　もたせよう自信　すきになろう自分

「できた」という達成感を通して、自信をもてる子どもを育てます。そして、自分を大切にし、自分を肯定的に認め、前向きな気持ちで生活できる子どもを育てたいと考えます。

ス　すすんで取り組もうとする意欲を育てよう

自信をもてることにより、自分からやってみようという意欲を引き出します。人にやってもらうのを待つのではなく、人に言われてから行動するのではなく、自分からすすんで行動しようとする意欲を大切にしたいと考えます。

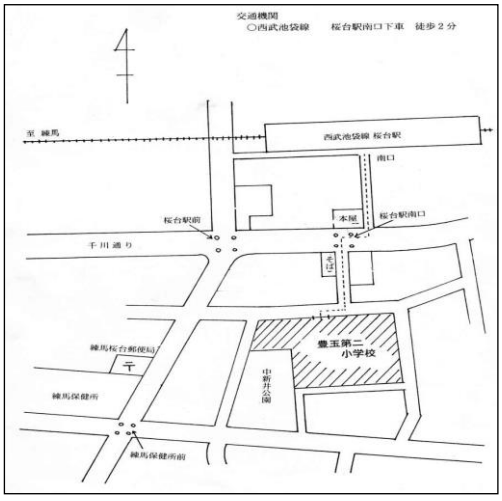
マラソン
毎日継続
体力作り

通常の学級との交流
集会や行事で

たのしい学校
多様な学習

校外学習
交通安全
社会学習

日常生活
一人でできる事を
増やす

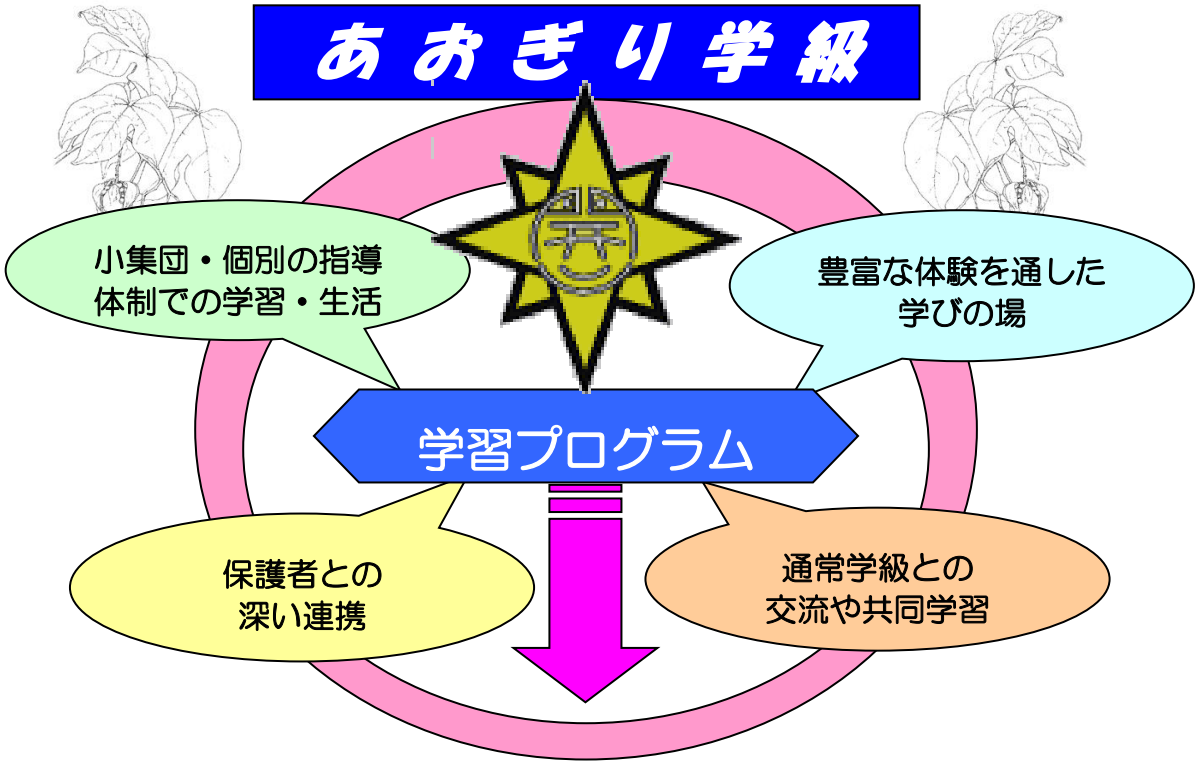


学校名　開進第二小学校　　学級の名称：あおぎり学級

校長　　髙石　直貴　　副校長　　螺良　幸生　　所在地　　桜台５－１０－５

１　学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	３	４	３	５	２	２	１９
	女	１	０	０	４	１	０	６
	計	４	４	３	９	３	２	２５



子供たちが登校したくなる魅力に溢れるあおぎり学級をつくろう

各教科［　国語(図書･書写を含む)・算数・音楽・図画工作・体育　］

○　学習指導要領に則り、基礎的･基本的な学習内容の確実な定着を図ります。

○　特別支援学校の教育課程を軸としつつ、個の発達に応じて通常の学級の下学年に対応した学習･課題を設定し、一人一人の可能性･能力を充分に伸ばす指導をしていきます。

領域・教科を合わせた指導［　日常生活の指導・生活単元学習　］

○　児童の生活課題を考慮しつつ、実態幅の広い児童に対応できる生活単元学習を設定します。

○　朝・昼・下校前に学校生活の流れに即した日常生活の指導を行います。

通常学級との交流

○　通常学級の児童や教職員との交流の機会(学級活動、遠足、クラブ活動、委員会活動　等)を設定し、共に学び、お互いに認め合い助け合う児童の育成に努めます。

保護者との連携

○　学校生活と家庭での様子について日々連絡を取り合い、児童の心理的安定、健康の保持を図ります。また、望ましい生活･学習習慣を身に付けられるよう、協力していきます。



学校名　北町小学校　　学級の名称：すまいる学級

校長　瀧嶋　克己　　副校長　髙山　智子　　所在地　北町１－１４－１１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	４	４	１	９	３	５	２６
	女	０	０	１	１	１	０	３
	計	４	４	２	１０	４	５	２９

かしこく

自分のことは自分でする子供

登校時の物の整理、整頓や身の回りの指導、給食の準備と片付け、清掃など、自分のことは自分で行う力を身に付けます。

＊通常の学級との交流

交流及び共同学習を推進し、ともに相手を思いやり、助け合う温かな心情を学級、学校全体で育成します。

・通常の学級の遠足、運動会への参加。
・異年齢集団によるたてわり班活動。
・清掃交流、他。

えがお　かがやく　すまいる学級

＊教科学習・自立活動

個別支援計画に基づき、教育活動全体の中で、個別の実態に応じた学習や自立活動を計画的に進めていきます。

＊宿泊学習と校外学習

自立に向けた生活、体力作り、集団での友達との関わりなど、様々な体験を通して学びます。

やさしく

友達と仲良くする子供

友達との関わりを大切にして、社会性を身に付けるとともに、思いやりや友情など、豊かな心を育てます。

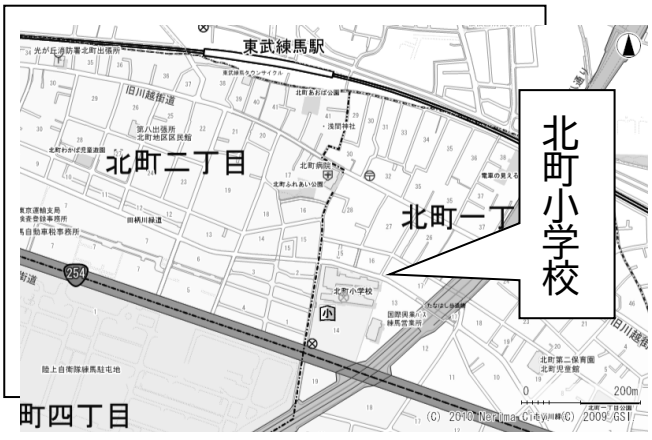
たくましく

丈夫な子供

持久走を行い、体をつくり、体力を高めるとともに、頑張る心を育て、できる喜びを体感します。

北町小学校の特別支援学級は、

「将来に生きるための力」を育てていきます。



1　一人一人の個性を大切にして、よさや可能性を伸ばしていきます。

2　発達段階を考慮した個別指導計画と学校生活支援シートを保護者の皆様とともに作成していきます。

学校名　練馬第三小学校　　学級の名称：かしわ学級

校長　　石神　徹　　副校長　　飯島　美希子　　所在地　　貫井１－３６－１５

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	３	７	７	６	４	７	３４
	女	２	３	１	２	１	１	１０
	計	５	１０	８	８	５	８	４４

かしわ学級では…

それぞれのよさや可能性を伸ばし、「生きる力」を身に付けることができるように、お子さんを支援しています。

そのために…

身辺自立
- 身支度、授業の準備、片付けなど、できるだけ自分でできるように支援します。
- 生活の時間に、日常生活に必要な事項や、手指を使う作業などに取り組んでいます。

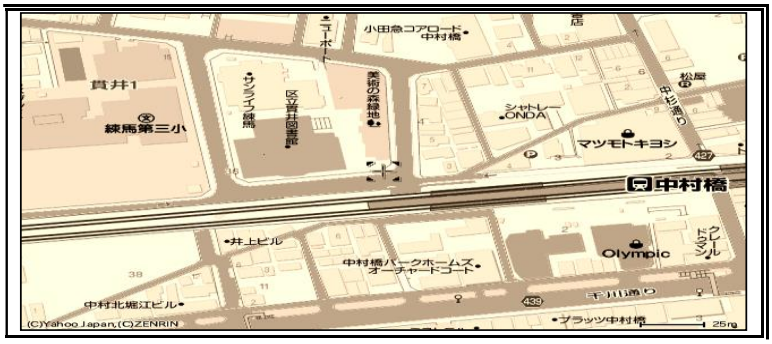
体力つくり
- 体育・・・発達段階を考慮したグループを作り、内容を工夫することで、持久力や巧緻性を養います。
- 校外歩行学習・・・近くの公園から始まり、少しずつ歩く距離を延ばしていきます。

体験的な学習
- 社会科的な視点での地域探検、理科的な学習での実験、観察、植物栽培等を行います。
- ３年生以上は、２泊３日の宿泊学習を行います。

豊かな心・表現力
- 音楽・・・手遊び、歌唱、ミニキーボード等の様々な楽器の演奏を通して技能と表現力を育みます。
- 図工・・・様々な素材を使って創造的に作ったり表したりする喜びを味わわせます。

国語と算数
- 国語と算数において学年を混ぜた課題別の小グループ（本年度７グループ）に分かれることで、内容を系統的に学習します。
- ゆっくりじっくり取り組むことで定着を図ります。

人とのかかわり
- 学級内で縦割り班での活動を行い、学年に応じた役割意識や責任感を育てます。
- 通常の学級と交流および共同学習をします。
  集会・クラブ活動・委員会活動・兄弟学年交流・社会科見学
  運動会などで一緒に活動しています。



以上のような学習をしています。

学校名　練馬東小学校　　学級の名称：すずしろ学級

校長　　幅　健司　　副校長　　須賀井　景子　　所在地　春日町１－３０－１１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	３	１０	４	３	５	３	２８
	女	１	５	２	４	２	２	１６
	計	４	１５	６	７	７	５	４４

練馬東小学校　すずしろ学級

自分のことを自分でできるように！

将来に向けて身の回りのことをできるように、繰り返し取り組みます。

ゆっくり･じっくり

グループに分かれて学習することで、自分のペースでゆっくり、じっくり学習を進めていきます。

バランスのよい体

いろいろな動きに取り組み、体の動かし方を学びます。体力や持久力、柔軟性を養います。

分かった！　できた！　楽しい！



関わり合い認め合い

高学年がリーダーとして、学級引っ張ります。友達の頑張りや個性を認め合いながら、学級の活動を進めます。

体験･経験を大切に！

宿泊学習では、持ち物を準備したり、自分たちで考えたレクリエーションを行ったりします。調理学習では、高学年を中心にメニューを考えます。

交流　～一緒に～

なかよし学級で活動します。
体育発表会・社会科見学などの学年の学習に参加します。



またやりたい！

アクセス

○都営地下鉄大江戸線
　練馬春日町駅下車　徒歩 10 分
○営団地下鉄有楽町線
　平和台駅下車　徒歩 15 分
○西武池袋線
　豊島園駅下車　徒歩 15 分
○国際興業バス
　練馬北町車庫より
　練馬行き（赤０１）
　東中学校入り口下車



学校名　光が丘春の風小学校　　学級の名称：のぞみ学級

校長　内木　勉　　副校長　藤田　紘生　　所在地　光が丘７－２－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	７	５	１	６	５	４	２８
	女	５	２	２	１	２	１	１３
	計	１２	７	３	７	７	５	４１

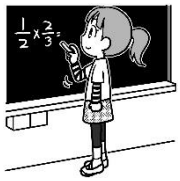
○　のぞみ学級とは、こんな学級です！

〇一人一人の能力や発達に応じた個別指導計画を作成し、個に応じたグループ指導を行います。
〇子供たちにとって身近な事柄を教材や題材として、実際の生活に役立つ知識や技能、態度の獲得を目指します。
〇学習や学校行事を中心に、通常の学級との交流及び共同学習を通して、関わり合いの中で主体的に学ぶ態度を育てます。




○　のぞみ学級では、こんな学習をしています！

〇教科学習（国語、算数、音楽、図工、体育、道徳）
・特別支援学校の学習指導要領を参考にして、実際の生活に役立つ知識や技能の獲得を目指します。
※個別指導計画に基づいて、指導内容を決めていきます。
〇各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習）
・基本的生活習慣の確立
・制作活動
・野菜の栽培
・調理学習
・宿泊学習などの行事に合わせた、行事単元の学習
※体験的な活動から、実際の生活に役立つ力を育成します。


○　のぞみ学級には、こんな行事があります！

〇遠足・宿泊学習
遠足では、校外での活動を楽しみながら、公共のマナーやルールを学習します。宿泊学習では、自分の身の回りのことに取り組んだり、体験的な活動をしたりします。
〇運動会、学芸会、音楽会、展覧会などの行事にも各学年で、またはのぞみ学級として参加します。



学校名　光が丘第八小学校　　学級の名称：わかば学級

校長　　窪田　尚子　　副校長　　下鶴　文恵　　所在地　光が丘１－４－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
７	男	６	１１	７	７	７	４	４２
	女	１	１	０	５	０	３	１０
	計	７	１２	７	１２	７	７	５２

“わかば学級”における大切な３つのキーワードの実現を目指し、

習熟度別学習グループによる個別の指導や異学年による縦割り班活動など、

様々な学習形態をとりながら、子供たちの自立を支援していきます。



わくわくしよう！	かんがえよう！	ばりばりいこう！
互いに学びあえる子供同士の関係づくりを目指していきます。	発達段階に即した課題で、子供の考える過程を大切にしていきます。	“分かる楽しさ”“できる喜び”を自信につなげていきます。

国語・算数・生活の教科学習
学びを生かした生活単元学習
自立に向けた日常生活の指導、宿泊学習
通常の学級との交流及び共同学習



学校名　石神井西小学校　学級の名称：わくわく学級　知的障害学級

校長　高野　博文　副校長　櫻井　欣也　所在地　関町北１－１－５

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	８	５	２	４	１	４	２４
	女	０	２	６	０	２	１	１１
	計	８	７	８	４	３	５	３５

わくわく学級　学級目標

●　明るく元気な子
●最後までがんばる子
●自分のことは自分でできる子
●なかよくする子

子どもの実態
- みんなで楽しくいろいろな活動に取り組むことができる。
- 興味があることに集中し協力して、取り組むことができる。
- 通常の学級の子どもたちとの交流がある。

学校の実態
- 各教科、領域の基礎基本について、児童の実態・発達段階に応じて、実践していく形をすすめている。
- 各学年との交流及び共同学習を実践している。

地域の実態
- 落ち着いた環境
- 地域は学校の教育活動に協力的。
- 児童館、図書館、区民館、ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰなど児童が関わりをもっている施設が多い。

「笑顔あふれる学校」
～感動の共有～
- 「わかるようになった」「できるようになった」喜びにあふれる学校
- 体も心も鍛え、生き生きとした元気あふれる学校
- 人とのかかわりを大切にし、仲良く助け合う優しさあふれる学校
- 家庭及び地域社会に信頼される開かれた学校

育てたい子ども
- 自分のことは自分でできる子
- 自分や友達を大切にし、思いやりの心をもてる子
- 自分の考え思いを伝えることができる子

家庭・地域との連携
- 子どもの声に耳を傾け、認めていく
- 学校と共に子どもを育てる関係



【最寄り駅】
- 西武新宿線　武蔵関駅　徒歩１０分
- 西武バス　吉祥寺通り入り口下車　徒歩２分

西武池袋線大泉学園駅から吉祥寺駅行き
ＪＲ中央線吉祥寺駅から新座栄・花小金井駅
保谷駅・成増駅・都民農園セコニック行き

学校名　上石神井北小学校　　学級の名称：みつば学級

校長　濱中　一　　副校長　春原　裕太・田向　あかね　　所在地　石神井台５－１－３２

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	５	７	５	７	７	６	３７
	女	３	３	２	２	０	０	１０
	計	８	１０	７	９	７	６	４７



校章
本校周辺は、昔はみつばの産地として有名でした。

すすんで運動

・体を動かすことの楽しさや喜びを味わえるように、体育の授業では、毎時間持久走や体つくり運動を行います。
・学校全体で行われる、なわとびチャレンジやマラソンチャレンジに参加し、持久力等の向上を目指します。



みつばちゃん
開校６０周年を記念して、新しいキャラクターが誕生しました。
今年度は、６５周年になります。

みつば学級の教育目標

やさしく行動

・異学年グループで行う学習活動を充実させます。高学年はリーダーとしての自覚をもち、下級生は高学年の姿を手本にします。また、通常の学級との交流及び共同学習も積極的に行っています。

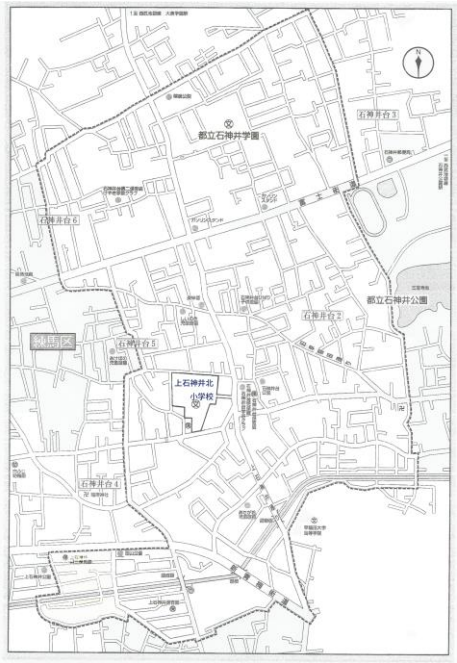
かしこく学習

・国語と算数は少人数の学習グループを編制し、習熟度に応じた指導を行います。
・課題の精選、教材・教具の工夫、ICT 機器の活用等を通して、自分の考えを自分の言葉で伝える力を育みます。

【アクセス】

■西武池袋線
・大泉学園駅
　西武バス　西荻窪行き
　関東バス　西荻窪行き
・石神井公園駅
　西武バス　吉祥寺行き
　上石神井北小前下車　徒歩２分

■西武新宿線
・上石神井駅
　西武バス　成増町行き
　関東バス　大泉学園行き
　上石神井北小前下車　徒歩１分



学校名　谷原（やわら）小学校　　学級の名称：くすのき学級

校長　伊藤（いとう）　雄一（ゆういち）　副校長　蠣崎（かきざき）　将仁（まさひと）　滝澤（たきざわ）　礼子（れいこ）　所在地　谷原２－９－２６

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	２	８	５	５	４	８	３２
	女	２	２	０	３	３	５	１５
	計	４	１０	５	８	７	１３	４７

谷原小学校
くすのき学級

自分のことを自分でする子
・将来の自立した生活の基盤となる基本的な生活習慣を身につけさせる。

なかよくいっしょに活動する子
・異学年との関わりを生かして、お互いの成長をはかる。
・通常の学級や区内の特別支援学級との交流や共同学習を通して、認め合い育ち合う関係づくりに努める。

くすのき学級の教育目標

すすんで学ぼうとする子
・学習内容や支援方法を工夫・改善して、意欲をもって学習する力をつける。
・繰り返し指導し、基礎的な学力（読む・書く・話す・聞く・計算する）をしっかりと身に付けさせる。

健やかな心と体の子
・心が安定し、自分の居場所と思うことができるような、明るく楽しい学級作りをする。

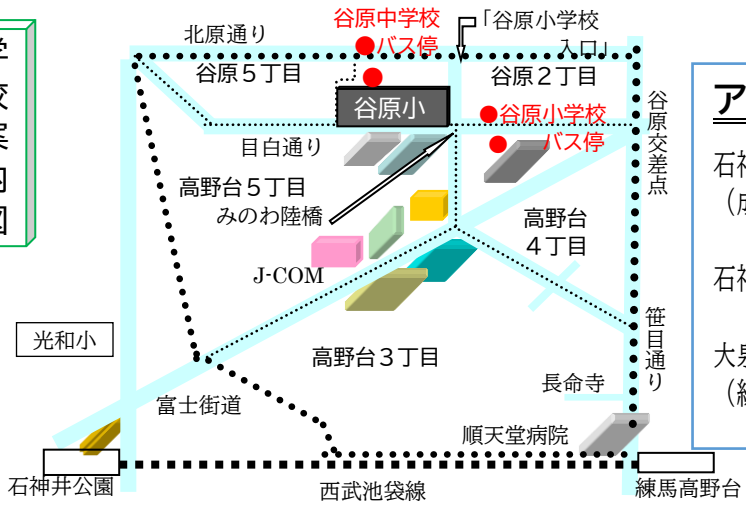
【校内の交流について】

特別支援学級の児童と通常の学級の児童が、共に生活することにより、互いに学び、育ち合う機会としている。

・全校朝会・入学式・卒業式・始業式・終業式・修了式
・社会科見学・校外学習・運動会・音楽会・展覧会
・クラブ・委員会・給食・なかよし交流　など



学校案内図



アクセス　～西武池袋線～

石神井公園駅　北口より
（成増町行バス谷原中学校下車　　徒歩５分）

石神井公園駅・練馬高野台駅より（徒歩１５分）

大泉学園駅　　北口より
（練馬駅行バス谷原小学校下車　　徒歩３分）

学校名　大泉小学校　　学級の名称：５組

校長　小髙　敏男　副校長　半野田　聡　所在地　東大泉４－２５－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
３	男	４	１	２	２	３	３	15
	女	３	０	１	２	０	１	７
	計	７	１	３	４	３	４	22

１　５組の教育目標

将来、社会の一員として自立し、意欲的に社会参加できる子ども
- **自分でよく考え、行動できる子ども**
- **生活に必要な能力や技能をもち、生かせる子ども**
- **集団の決まりや社会のルールが分かり、いろいろな人とコミュニケーションを取れる子ども**
- **健康で明るく、最後まで頑張ろうとする子ども**

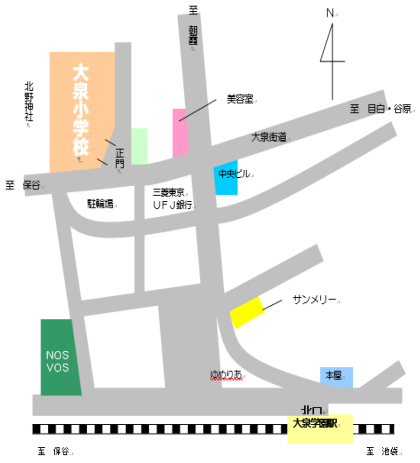
２　教育目標達のための基本方針

- 児童の障害の状況、性格、家庭環境、生活経験などから児童を多角的にとらえ、個別指導計画を作成し、一人一人の児童の実態とニーズに応じた指導を行う。
- 体験的な学習を重視し、生活に必要な知識・技能を身に付けさせる。
- 学習形態や集団編成を工夫し、個々の発達段階に応じた指導を行う。
- 学校支援シートを作成し、地域、医療、福祉の関係諸機関と連携を図る。
- 人権教育の視点から障害理解の啓発に努め、通常学級との計画的な交流及び共同学習を通して、人と関わる力や社会性を育むとともに、地域で豊かに生活できる力を育てる。

３　週時間割

	月	火	水	木	金
	全校朝会	朝学習		児童集会	読書
１	道徳	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
２	国語	算数	体育	体育	体育
中休み					
３	算数	生活/調理	国語	図画工作	算数
４	生活単元	生活/調理	音楽	図画工作	音楽
給食・昼休					
５	生活単元	国語(図書)	算数	国語	学級活動
６	国語	外国語/総合	生活単元/総合	クラブ/委員会	国語

大泉小学校までの案内図



学校名　大泉第三小学校　　学級の名称：いちょう学級

校長　　髙野　正之　　副校長　　下川　洋平　　所在地　大泉学園町３－２２－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
５	男	４	３	４	４	５	４	２４
	女	２	１	０	２	２	３	１０
	計	６	４	４	６	７	７	３４

〇学校の教育目標

〇　よく考え、進んでやりぬく子
〇　仲よく、力を合わせる子
〇　健康で、明るい子

〇特別支援学級の教育目標

学校の教育目標を受けて、特別支援学級の目標を次のように設定しました。基本的生活習慣を確立し、集団生活に適応できる能力や態度を養います。また、情緒の安定を保ち、意欲と興味をもって力いっぱい活動したり、表現したりする児童を育てます。

〇　自分のことは自分でする子　　〇　さいごまでがんばる子
〇　ともだちとなかよくする子　　〇　じょうぶで元気な子

いちょう学級は、この教育目標を達成するために、以下の具体化を進めます。

自立

自立に向けて、身支度、授業の準備、片付けなど、自分のことを自分でできるように、繰り返し取り組みます。

根気

個に合わせた学習課題を設定します。自分のペースでゆっくり、じっくり学習を進め、定着を図ります。

交流

異学年のグループ編制を生かして、学年に応じた役割意識をもたせ、互いに認め合う心を育みます。

元気

体育やリトミックの学習を通して、体力、持久力、柔軟性を高め、心身ともに健康な児童の育成を目指します。



アクセス

〇西武池袋線
「大泉学園駅」北口より
西武バス
・泉３０　　福祉センター行き
・泉３０－１　新座駅南口行き
乗車約１５分
「大泉第三小学校前」下車　徒歩３分



学校名　大泉東小学校　　学級の名称：さくら学級

校長　小須田 哲史　　副校長　長坂 美貴・田代 知裕　　所在地　東大泉１－２２－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
５	男	３	４	５	５	４	４	２５
	女	２	２	０	１	３	３	１１
	計	５	６	５	６	７	７	３６

さくら学級の特色

個別指導を生かした学習や生活

特別支援学級として、習熟度別による学習活動や自立を目指した活動等を通して、個々の能力に応じた指導を行い、児童一人一人の成長を支援します。

通常の学級との交流を深める

通常の学級と併設された学校としての長所を生かし、日常生活や学校行事を通して、交流活動を行い、互いの理解を深めるよう支援します。

学級の設備

児童にとって「落ち着ける環境」となる場所に「学習」と「生活」の場である教室が配置されています。冷暖房完備で、専用のホールやトイレ、シャワーも設置しています。

教育課程

各教科『国語・算数・音楽・図画工作・体育・生活単元学習・総合的な学習の時間　等』

○児童の実態に応じて指導内容を精選し、学習グループを編成したり、習熟度や発達段階に応じた内容・課題を設定したりすることで児童一人一人の能力を十分に伸ばす指導の充実を図ります。
○児童一人一人の特性や能力に応じた教材・教具・指導法を工夫し、自ら学ぶ意欲を育てます。

特別の教科　道徳

○優しく心豊かな関わりがもてる児童の育成に重点を置き、具体的な生活場面において道徳的実践力を高めるよう指導に努めます。
○社会の中で円滑に生活していく上でのきまりやマナーについて指導します。

日常生活の指導・自立活動

○児童一人一人の障害の状況及び能力・適性等を把握した上で、全教育活動を通して自立に向けた日常面・生活面での段階的・系統的な指導を行い、コミュニケーション能力の向上や身体的機能の促進に努めます。

交流活動

○通常の学級の児童や教職員との交流の機会（各教科、日々の休み時間、ペア学年活動、集会活動、社会科見学、大東スポーツフェスティバル、クラブ活動、委員会活動等）を意図的・計画的に設定し、互いに認め合い、助け合う児童の育成に努めます。

生活指導

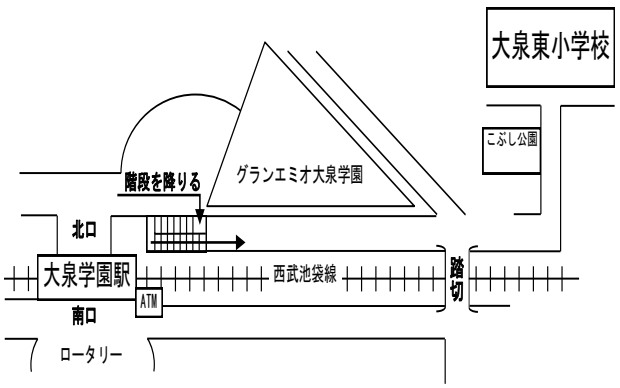
○身辺自立の定着を図り、生活自立へ向けた指導を行います。
○集団への適応・協調性を養う等社会生活への適応を図ります。
○健康・安全に関心をもたせ、自他の生命を大切にする態度を育てます。

進路指導

○児童一人一人が自分のよさや可能性を発揮し、上級学校の見学、体験を通して進学への理解と期待をもつことができるよう工夫します。
○保護者との連携を緊密にし、児童の将来への見通しをもって指導を行います。

特別活動

○学校の諸行事、クラブ活動、委員会活動等に積極的に参加することを通して、集団の一員としての自覚を深め、協力して学校生活を充実させようとする態度を育てます。



学校名　大泉学園小学校　　学級の名称：ひまわり学級

校長　本橋　教子　　副校長　亀岡　良樹　　所在地　大泉学園町４－７－１



学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	１	０	２	４	６	４	１７
	女	０	１	０	１	２	４	８
	計	１	１	２	５	８	８	25

こんな子どもに育ってほしい！！

ひとりひとりが、明るく、感性豊かに、自信をもって自分の周りの事象に積極的に働きかけ、心身共にたくましく成長することを目指して・・・

よく見て、聞いて、行動できる子ども

仲良く助け合う子ども

明るく元気な子ども

学習　行事　生活

こんな活動をしています！

楽しく勉強・しっかり勉強

国語・算数は５つのグループ、音楽・図工・生活単元は２つのグループ、体育は学級全体で学習します。子どもたちの課題によって、全体・クラス・グループと集団を分け、“楽しくしっかり分かるまで”を合い言葉に勉強しています。

楽しく交流

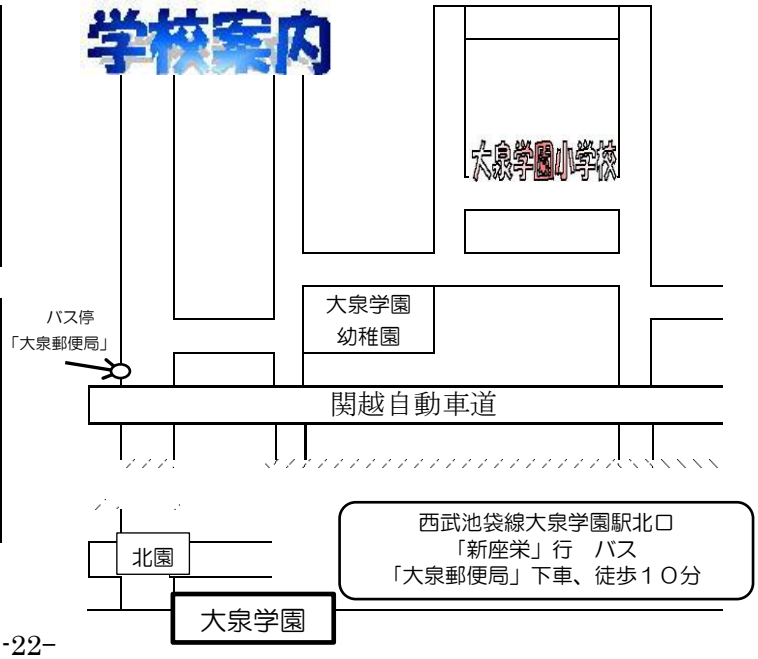
１年生から６年生まで、一人一人の状況に応じて通常の学級の子どもたちとの交流を行っています。体育学習発表会や遠足などの行事、社会科見学、総合的な学習の時間など、さまざまな学習で楽しく関わり、主体性・社会性をしっかり育てていきます。

みんなで作ろう!

様々な体験活動を通して、生活に役立つ知識を身に付けたり、季節を感じたりすることを大切にしています。校外学習でのそり遊びや宿泊学習、お別れ遠足は子供たちが楽しみにしている行事です。お月見やお正月遊びも楽しみます。

どんどん　どどーん　どどーん　どん!

演目を決めて、和太鼓に挑戦しています。基礎打ちから取り組み、リズム・ポーズが決まるまで練習を積み重ねていきます。３年に一度の音楽会では、衣装を着て、発表を行っています。力強い演奏は好評で、大きな拍手をもらっています。



学校名　南田中小学校　　学級の名称：みなみん学級

校長　菅野　僚　　副校長　飯塚　航　　所在地：　南田中５－１５－３７

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
３	男	０	１	５	２	２	５	１５
	女	２	２	１	２	０	２	９
	計	２	３	６	４	２	７	２４



みなみん学級

「みなみん」は、南田中小学校の児童に親しまれている名前です。今年度は開校５８周年となります。それに伴って、本校のマスコット「みなみんバード」にも、「５８」の数字が入っています。
今後も、みんなから愛される学級を目指していきます。

考え表現できる子

仲良く協力できる子

気力や体力のある子

学習

学習課題に応じた適切な集団を設定して、小グループでの学習に取り組んでいます。小グループだからこそできる、よく聞く、自分の言葉で発表することを大事にしています。

交流

校内の各学年の子どもたちと年間を通して交流します。ここでは、みなみん学級の子どもたちも主体的に活動できること、そして社会性が育まれることを目指します。通常の子どもたちとの相互理解も重要です。

生活

将来の自立に向けて、自分のことは自分でやります。スモールステップで目標を設定し、できることを増やしていきます。また、自分の役割は最後までやり切る、責任感や気力も生活の中から育てていきます。



こんな子供の育成を目指しています！



特別支援教室の指導・支援の体制

特別支援教室の仕組みとは…

練馬区立小学校には「特別支援教室」が設置されており、各小学校で児童の特性に応じた特別な指導を受けることができます。特別支援教室では、巡回指導教員が拠点とする学校（拠点校）から各小学校（巡回校）に出向き指導を行います。

特別支援教室の指導対象児童については、保護者との合意等に基づいて、練馬区教育委員会が決定します。

在籍学級



在籍学級担任

連携

巡回指導教員



●児童の行動観察

指導を受けている児童だけでなく、学級全体の状況を観察します。

●指導の工夫

必要な配慮や授業での有効な支援方法について助言をします。



在籍学級から
特別支援教室へ

必要に応じて
特別支援教室から
在籍学級へ



＊特別支援教室での指導
＊在籍学級内での支援

特別支援教室



指導



巡回指導教員

●指導時間

対象児童は週に 1～3 時間、校内に設置された特別支援教室へ特別な指導を受けに行きます。

●指導内容

巡回指導教員は在籍学級担任と相談し、児童の障害の状態に応じた指導を実施します。

特別支援教室での指導を円滑に行うため、特別支援教室専門員を各学校に配置し、臨床発達心理士等による巡回を行います。



特別支援教室専門員（非常勤職員）

巡回指導教員や特別支援教育コーディネーター、在籍学級担任等との連絡調整および個別の課題に応じた教材の作成、児童の行動観察や記録を行います。



臨床発達心理士等 （巡回）

児童の状態に応じて行う「自立活動」や「特別の指導」です。

特別支援教室で行う指導とは…

児童にとって困難なこと、苦手なことの例

- ◆コミュニケーションがうまくとれない
- ◆相手の立場になって考えることが難しい
- ◆集中し続けることが難しい
- ◆授業中に席を離れてしまったり、質問が終わらないうちに答えてしまったりするなど、他の児童と同じペースで学習することが難しい
- ◆音読が苦手である
- ◆書くことが苦手である
- ◆計算が苦手である

特別支援教室で行う指導

- ◆ロールプレイなどを通じて、適切な会話ができるようにするための指導
- ◆提示する情報量を調節しながら、必要な情報を見分けたり、聞き分けたりする力を高めるための指導
- ◆順番を守って人の話を聞くなど、ルールに従って行動できるようにするための指導
- ◆自分に合った学習方法を習得し、その方法を取り入れて、国語や算数等の学習ができるようにするための指導

特別支援教室の自立活動

特別支援教室では、一人一人の児童の状態に応じて、下の表の「自立活動の６区分２７項目」の指導内容の中から必要とする指導項目を選んで、個別指導計画を作成して指導します。

また、特別支援教室における自立活動の指導形態は、個々の児童の課題への対応中心となりますが、児童が在籍する通常の学級でのよりよい適応を目指して、ロールプレイなどによる相手と関わる際の具体的な方法を身に付ける指導など、個別指導と併せて少人数によるグループ指導も工夫していきます。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ
(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (2)病気の状態の理解と生活管理に関すること。 (3)身体各部の状態の理解と養護に関すること。 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5)健康状態の維持・改善に関すること。	(1)情緒の安定に関すること (2)状況の理解と変化への対応に関すること (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	(1)他者とのかかわりの基礎に関すること。 (2)他者の意図や感情の理解に関すること。 (3)自己の理解と行動の調整に関すること。 (4)集団への参加の基礎に関すること。	(1)保有する感覚の活用にすること。 (2)感覚や認知の特性への理解と対応に関すること。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動に関すること。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活に関すること。 (3)日常生活に必要な基本動作に関すること。 (4)身体の移動能力に関すること。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。	(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2)言語の受容と表出に関すること。 (3)言語の形成と活用に関すること。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。

〇特別支援教室の導入効果…

- 児童が他校まで通う負担や、在籍学校での授業の遅れに対する不安が解消されます。
- これまで通級指導学級で行われていた指導を取り入れながら、在籍校で過ごすことで、児童の学力や在籍学級における集団適応能力の伸長が図られます。
- 在籍学級担任と巡回指導教員との連携が緊密になり、児童の状況を見ながら、よりきめ細やかな指導が行えます。
- 教職員や保護者が発達障害のある児童への指導内容を知る機会が増え、障害に対する理解が深まります。

特別支援教室・拠点校

○各拠点校と巡回校一覧…

一部特別な指導を必要とする児童は、在籍校に設置された特別支援教室で指導を受けます。

	拠　点　校	ルーム名	巡　回　校
1	みらい青空学園小学校	えご花	小竹小学校　豊玉第二小学校　豊玉東小学校
2	豊玉南小学校	みなみ	豊玉小学校　　中村小学校　　中村西小学校
3	開進第一小学校	あおば教室	早宮小学校　　仲町小学校　　練馬東小学校
4	南町小学校	つつじ	開進第二小学校　開進第三小学校　開進第四小学校
5	練馬第三小学校	ポプラ	練馬第二小学校　　向山小学校　　春日小学校
6	田柄小学校	けやき	北町小学校　北町西小学校　田柄第二小学校
7	光が丘四季の香小学校	こぶし	旭町小学校 光が丘秋の陽小学校 光が丘第八小学校
8	光が丘春の風小学校	ひかり	練馬小学校　高松小学校　光が丘夏の雲小学校
9	石神井小学校	さわやか	石神井台小学校　上石神井北小学校　関町北小学校
１０	石神井東小学校	ふたば	下石神井小学校　南田中小学校　南が丘小学校
１１	谷原小学校	やわらぎ	光和小学校　　北原小学校　　富士見台小学校
１２	関町小学校	かたくり	石神井西小学校　上石神井小学校　立野小学校
１３	大泉小学校	いずみ	大泉東小学校　　大泉南小学校
１４	大泉第三小学校	いずみ	大泉西小学校 大泉学園緑小学校 大泉学園桜小学校
１５	大泉第六小学校	いずみ	大泉第二小学校　　大泉第四小学校
１６	大泉学園小学校	あおぞら	大泉第一小学校　　大泉北小学校
１７	八坂小学校	わかたけ	豊溪小学校　　泉新小学校　　橋戸小学校

みらい青空学園（小学部）　　特別支援教室拠点校：えご花ルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	７	３	４	７	４	２	２７
女	０	０	１	２	３	１	７
計	７	３	５	９	７	３	３４

巡回指導日

月	火	水	木	金
みらい青空学園	豊玉第二小学校	みらい青空学園	小竹小学校 豊玉東小学校	豊玉東小学校

豊玉南小学校　　特別支援教室拠点校：みなみルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	８	１０	１６	１４	８	８	６４
女	４	０	２	２	５	３	１６
計	１２	１０	１８	１６	１３	１１	８０

巡回指導日

月	火	水	木	金
豊玉南小学校	中村小学校 中村西小学校	豊玉南小学校	豊玉小学校 中村小学校	豊玉小学校 中村西小学校

開進第一小学校　　特別支援教室拠点校：あおば教室

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	１２	１０	５	７	６	４	４４
女	３	４	１	０	１	０	９
計	１５	１４	６	７	７	４	５３

巡回指導日

月	火	水	木	金
仲町小学校 練馬東小学校（午後隔週）	仲町小学校	開進第一小学校	早宮小学校	練馬東小学校

南町小学校　　特別支援教室拠点校：つつじルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	９	８	６	１２	８	１０	５３
女	０	２	３	２	１	１	９
計	９	１０	９	１４	９	１１	６２

巡回指導日

月	火	水	木	金
開進第二小学校 開進第三小学校	開進第四小学校	南町小学校	南町小学校 開進第三小学校	南町小学校 開進第二小学校

練馬第三小学校　　特別支援教室拠点校：ポプラルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	１１	１０	９	11	１１	４	５６
女	１	６	５	１	１	４	１８
計	１２	１６	１４	１２	１２	８	７４

巡回指導日

月	火	水	木	金
練馬第二小学校 向山小学校	練馬第三小学校	練馬第三小学校	練馬第二小学校 春日小学校	練馬第二小学校 向山小学校

田柄小学校　　特別支援教室拠点校：けやきルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	９	９	２０	１１	１１	７	６７
女	２	２	５	４	２	２	１７
計	１１	１１	２５	１５	１３	９	８４

巡回指導日

月	火	水	木	金
北町小学校 田柄小学校	北町西小学校	田柄小学校	北町小学校	田柄第二小学校

光が丘四季の香小学校　　特別支援教室拠点校：こぶしルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	９	５	１１	４	９	６	４４
女	２	１	５	１	３	１	１３
計	１１	６	１６	５	１２	７	５７

巡回指導日

月	火	水	木	金
光が丘四季の香小学校	旭町小学校	光が丘四季の香小学校	光が丘秋の陽小学校	光が丘第八小学校

光が丘春の風小学校　　特別支援教室拠点校：ひかりルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	１０	６	９	８	５	４	４２
女	４	１	１	１	２	４	１３
計	１４	７	１０	９	７	８	５５

巡回指導日

月	火	水	木	金
光が丘春の風小学校	練馬小学校	光が丘春の風小学校	高松小学校	光が丘夏の雲小学校

石神井小学校　　特別支援教室拠点校：さわやかルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	１５	１１	１１	１５	１１	８	７１
女	３	２	２	０	６	３	１６
計	１８	１３	１３	１５	１７	１１	８７

巡回指導日

月	火	水	木	金
石神井小学校 上石神井北小学校	関町北小学校 石神井台小学校	石神井小学校	関町北小学校 石神井台小学校	石神井小学校 上石神井北小学校

石神井東小学校　　特別支援教室拠点校：ふたばルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	６	６	１９	１９	１０	２	６２
女	４	２	２	２	２	１	１３
計	１０	８	２１	２１	１２	３	７５

巡回指導日

月	火	水	木	金
石神井東小学校 下石神井小学校	南が丘小学校 下石神井小学校	石神井東小学校 南田中小学校	石神井東小学校 南田中小学校	下石神井小学校

谷原小学校　　特別支援教室拠点校：やわらぎルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	９	５	１１	１３	１６	１５	69
女	４	２	４	２	４	１	17
計	１３	７	１５	１５	２０	１６	８６

巡回指導日

月	火	水	木	金
谷原小学校 富士見台小学校	北原小学校 光和小学校	谷原小学校	富士見台小学校 北原小学校	光和小学校 谷原小学校

関町小学校　　特別支援教室拠点校：かたくりルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
男	９	７	１０	１５	１４	１６	７１
女	２	２	２	３	２	０	１１
計	１１	９	１２	１８	１６	１６	８２

巡回指導日

巡回曜日	月	火	水	木	金
指導校	関町小学校 石西小学校	立野小学校 上石神井小学校	関町小学校	上石神井小学校	立野小学校 石神井西小学校

大泉小学校　　特別支援教室拠点校：いずみルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	１０	９	５	１３	１８	４	５９
女	４	２	３	３	４	０	１６
計	１４	１１	８	１６	２２	４	７５

巡回指導日

月	火	水	木	金
大泉小学校 大泉東小学校 大泉南小学校	大泉東小学校 大泉南小学校	大泉小学校	大泉小学校 大泉東小学校 大泉南小学校	大泉東小学校 大泉南小学校

大泉第三小学校　　特別支援教室拠点校：いずみルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	３	９	７	１６	９	１３	５７
女	１	３	４	１	１	３	１３
計	４	１２	１１	１７	１０	１６	７０

巡回指導日

月	火	水	木	金
大泉第三小学校 大泉学園緑小学校	大泉桜学園 大泉学園緑小学校	大泉第三小学校	大泉西小学校	大泉西小学校 大泉桜学園

大泉第六小学校　　特別支援教室拠点校：いずみルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	２	８	１１	１３	１１	７	５２
女	１	０	１	１	０	１	４
計	３	８	１２	１４	１１	８	５６

巡回指導日

月	火	水	木	金
大泉第四小学校	大泉第四小学校	大泉第六小学校 大泉第四小学校	大泉第六小学校 大泉第二小学校	大泉第六小学校 大泉第二小学校

大泉学園小学校　　特別支援教室拠点校：あおぞらルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	１	６	１０	６	６	９	３８
女	１	３	１	２	１	０	８
計	２	９	１１	８	７	９	４６

巡回指導日

月	火	水	木	金
大泉北小学校	大泉第一小学校	大泉学園小学校	大泉北小学校	大泉学園小学校

八坂小学校　　特別支援教室拠点校：わかたけルーム

在籍児童数（令和８年４月現在）

児 童 数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
男	８	１０	６	７	１２	５	４８
女	０	０	１	０	３	１	５
計	８	１０	７	７	１５	６	５３

巡回指導日

月	火	水	木	金
八坂小学校	泉新小学校	豊渓小学校 八坂小学校	豊渓小学校	橋戸小学校

難聴・言語・弱視

※「ことばの教室」「きこえとことばの教室」「目の教室」「弱視学級」があります。

【難聴学級】　学校名（教室名）
≪小学校≫ ◎みらい青空学園小学校（きこえの教室） ◎石神井小学校（きこえとことばの教室） ≪中学校≫ ◎開進第二中学校（難聴学級）
【言語障害学級】　学校名（教室名）
≪小学校≫ ◎南町小学校（ことばの教室） ◎北町西小学校（ことばの教室） ◎石神井小学校（きこえとことばの教室） ◎関町北小学校（ことばの教室） ◎大泉小学校（ことばの教室） ≪中学校≫ ※設置校なし
【弱視学級】　学校名（教室名）
≪小学校≫ ◎中村西小学校（目の教室） ≪中学校≫ ◎開進第三中学校（弱視学級）

学校名　みらい青空学園（小学部）学級の名称：きこえの教室　　難聴学級

校長　坂本　司　副校長　伊木　文枝・田﨑　清文・中島　裕人　所在地　旭丘2―40―1

開設　昭和37年4月6日

1．学級数・在籍児童数（令和8年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1	男	0	1	1	1	0	0	3
	女	2	0	1	2	0	2	7
	計	2	1	2	3	0	2	10

2．教育目標

児童が、難聴から生じる困難を解決しながら、在籍校における学習や諸活動に参加していくことを支援する。

3．指導の重点（基本方針）

① 聴覚管理・補聴器や人工内耳の管理が自分で行えるようにする。
② 残存聴力を活かし補聴器や人工内耳を活用して“きく力”を高める。
③ 発音・発話の明瞭度を上げる。
④ コミュニケーションの力を伸ばし、コミュニケーション意欲を高める。
⑤ 学習の基礎となる言語力を高める。

4．週時間割

	時間	月	火	水	木	金
1	8:45～10:15	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
2	10:30～12:00	自立活動	自立活動	教室会議	教室研究会	教育相談
3	13:45～15:15	自立活動	都難言他研究会	自立活動	自立活動	自立活動
4	15:15～16:45	自立活動		自立活動（グループ指導）	自立活動	ケース会議

5．主な年間行事

① 入級を祝う会・通級はじめの会（4月）
② 小学校難聴学級合同学習（7月）
③ 小中学校難聴学級交流会（7、10月）
④ 小学校難聴学級交流会（9、1月）
⑤ 設置校児童との交流会（11月）
⑥ 成人難聴者との交流会（11月）
⑦ 発表会（12月）
⑧ 通級終了を祝う会・通級おわりの会（3月）

（変更になる場合があります。）

6．電　話

学　級（3972）4815（兼FAX）
職員室（3957）2151
事務室（3957）2152
FAX（3958）9007

みらい青空学園 きこえの教室

私たちの学級は・・・

難聴通級指導学級（きこえの教室）です。

難聴児が、難聴から生じる困難を解決しながら、通常の学級で生活し学習していくことを支援します。

☆通級制です。

・通級児は、週１～８単位時間「きこえの教室」で学習します。

（通級回数や通級曜日は、保護者や在籍校と話し合って決めます。）

※「きこえの教室」での学習は、教育課程の一部とみなされます。
遅刻・早退にはなりません。

☆個別指導を基本とします。

・通級児の課題や力に合わせて、興味や関心を大切にしながら指導します。必要に応じて小集団指導も取り入れています。
・保護者や在籍校と話し合い、指導内容を決め指導します。

※入・退級は年度や学期に関係ありません。支援の必要に応じて、入・退級できます。

☆ 指導内容は、通級児一人一人に合わせて考えていきます。

主な指導内容

・コミュニケーションの力を伸ばすために
聴覚管理　補聴器・人工内耳の活用　発音・発話　必要に応じて視覚的手段の活用

・学習する力を伸ばすために
語彙拡充　読解　話の構成　構文　表記　数量理解　時間・空間理解

・社会参加の力を伸ばすために
障害の客観的な理解　必要な配慮を要請する知識と力

☆アクセス

西武池袋線　江古田駅下車

徒歩７分

地下鉄有楽町線　小竹向原駅下車

徒歩１５分



学校名　石神井小学校　　学級の名称：きこえの教室　　難聴学級

校長　椿田　克之　　副校長　菅原　友子　　所在地　石神井台１－１－２５

１　学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
２	男	１	１	１	２	３	１	９
	女	１	１	２	１	３	４	１２
	計	２	２	３	３	６	５	２１

２　教育目標

聴覚を最大限に活用する力を養い、難聴に伴う様々な困難を軽減し、
①思いやりがあり、友達と仲良くできる子供に育てる。
②のびのびと話のできる子供に育てる。
③よく考え、行動できる子供に育てる。
④話をよく聴くことができる子供に育てる。

３　指導の重点（基本方針）

①実際的な経験等の具体的学習活動を通して、自己理解や障害理解を深める。
②児童の発達の進んでいる側面を更に促進させることによって、自信と意欲を喚起し、課題となっている側面の伸長や改善に役立てる。
③児童が興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わうことができるような指導事項を設定する。
④指導効果の向上を図るために、在籍学級及び家庭との連携を密接にする。
⑤適切な指導を行うために、医療機関等、関連諸機関との連携を図る。

４　週時間割

	月	火		水	木	金	土	時間帯
１	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	教育相談諸会議	8:50～
２	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動		10:20
中休み								
３	自立活動	自立活動		自立活動	ケース会議	教室会議		10:40～
４	自立活動	自立活動		自立活動				12:10
給食・昼休								
５	自立活動	都難言	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動		13:30～
６	自立活動	ブロック・	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動		15:00
７	自立活動	専門・役員研究会	自立活動	グループ学習	自立活動	自立活動		15:05～16:35

５　主な年間行事

① 入級を祝う会（４月）　②夏祭り（７月）　③きこえの教室合同学習（７月）
④きこえとことばの発表会（１１月）⑤成人難聴者との交流会（１２月）
⑥お楽しみ会（１月）　⑦きこえグループおわりの会（２月）

６　電　話

学　級（３９９７）３２７９　　ＦＡＸ（３９９７）３２７９
職員室（３９９７）３２７７　　事務室（３９９７）３２７６

石神井小学校 きこえの教室

私たちの学級は…
難聴通級指導学級(きこえの教室)です。

難聴児が、難聴から生じる様々な困難を解決しながら、通常の学級で生活し、学習していくのを支援します。

※通級制です。

○通級児は、週１～数回、「きこえの教室」で勉強します。
（何曜日に何時間通級するかは、保護者や在籍校の先生と相談をして決めます。）

○「きこえの教室」での学習は、教育課程の一部とみなされます。在籍学級の授業を抜けても遅刻・早退・欠席扱いにはなりません。

※個別指導を基本にしています。

○通級児の課題や力に合わせて、興味・関心を大切にしながら、次のような指導をしています。

・きこえの状態の確かめ
・補聴器や人工内耳を使う練習
・音やことばを聞き取る練習
・発音練習
・語彙を増やす指導
・正しいことばの使い方を身につける指導
・コミュニケーションを促進する指導



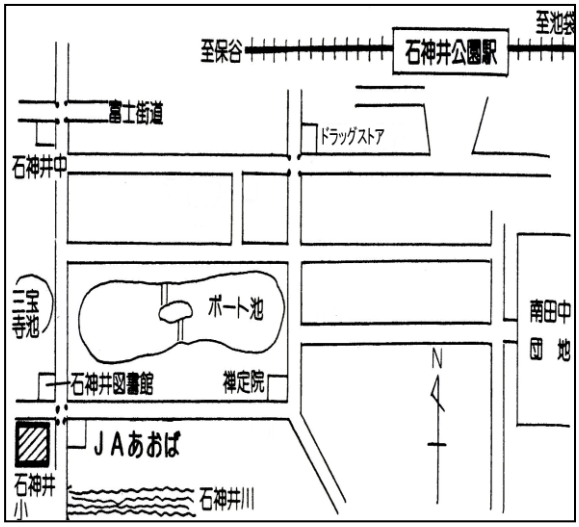
※様々な形態のグループ(小集団)指導を取り入れています。

○小集団活動を通して、子どもたち同士や、先生との関わりを深め、通常の学級での適応を促進します。

※こんなことが思いあたったら気軽に相談を…

・呼びかけても振り向かない。
・呼んでも返事をしないことがある。
・「えっ？」と聞き返すことが多い。
・発音がはっきりしない。
・ことばが少なく、話がよく分からない。
・テレビの音を大きくする。

いつでも相談をお待ちしています。
TEL 3997－3279



学校名　南町小学校　　学級の名称：ことばの教室　　言語障害学級

校長　早渕　白輝　　副校長　鈴木　すみ絵　　所在地　練馬2－7－5

開設　平成１５年4月1日

1．学級数・在籍児童数　（令和8年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
3	男	0	8	11	6	0	2	27
	女	3	9	3	3	2	0	20
	計	3	17	14	9	2	2	47

2．教育目標

南町小学校の教育目標「つよく　かしこく　あたたかく」を受けて、言葉の改善を図り、学校生活に適応することをめざす。

つよく　・・・　◎伸び伸びと話のできる子供を育てる。
かしこく　・・・　・よく考え、行動力のある子供の育成を図る。
あたたかく　・・・　・思いやりがあり、友達と仲良くできる子供を育てる。

3．指導の重点（基本方針）

① 児童の課題を把握し、個に応じた教材や指導方法を工夫して指導を行う。（指導計画の作成）
② 専門家の指導助言を受け、指導に生かす。（専門家診断）
③ 個々の児童の指導目標や指導法を検討しあい、指導を深める。（ケース会議）
④ 在籍学級担任と情報を共有し、連携して指導に当たる。（在籍校訪問）（在籍担任参観）
⑤ 家庭と連携して指導を行う。（保護者面談）
⑥ 専門的知識と技能を習得し、資質の向上と指導力の充実を図る。（研究･研修会）

4．週時間割

	月	火	水	木	金	土	時間帯
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	言語運営研究会	8:50～10:20
2							
3	研究・研修 教室会議	自立活動	自立活動	ケース会議 自立活動	ことばの相談 自立活動		10: 45～12:15
4							
5	自立活動	都難言協 ブロック研究 専門研究	自立活動	自立活動	自立活動		13:35～15: 00
6							
7	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動		15: 00～16: 30

5．主な年間行事

①在籍校訪問（6月）②個人面談（7、12、3月）③在籍担任参観（10月）④交流会（１１月）⑤保護者講演会

6．電　話

校長室　（3993）2430　　学　級　（3993）4500　　学級FAX（3993）4500
職員室　（3993）2438　　学校FAX（5984）1930　　事務室　（3993）2439

南町小学校　ことばの教室紹介

言葉に心配がある子供たちを個別に指導している教室です。

ことばの教室に通級するとは

- ふだんは、それぞれの学校で勉強しながら、週に１～2回程度（１回４５～９０分）時間を決めて、ことばの教室に通います。遅刻・早退・欠席扱いにはなりません。
- １対１の個別指導が中心ですが、必要に応じて小グループで指導することもあります。
- 指導は専門の教師が行います。
- 通級の際は、保護者の付き添いを原則とします。
- 必要に応じて、医師、その他の専門家とも連絡を取り合います。
- 在籍学級訪問、在籍担任参観を行い、担任の先生と話し合うことで通級児童についての共通理解を図ります。

このような指導をしています

・・・*人と一緒にいると楽しい*、*聞きたい*、*話したい*、*伝えたい*・・・
こんな気持ちを育てることが、言葉の発達には最も大切です。
楽しくやりとりしながら、自分からすすんで話す気持ちを育てます。



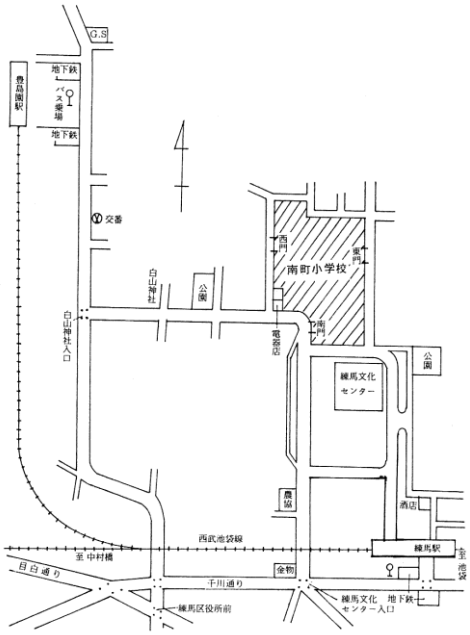
- 発語器官（唇、舌、顎など）の運動機能や、正しい発音と誤った発音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
- 伸び伸びとした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を身に付けたりできるようにします。
- 言葉の数を増やす、言葉を正しく組み立てることができるようにする、場に合った言葉が使えるようにするなど、言葉の力を伸ばします。
- 読み書きの苦手さの原因を探り、有効な学習法を考えます。
- 保護者の方と話し合い、家庭での子供へのよりよい対応について考えます。
- 在籍学級の先生に、ことばの教室での様子を伝えたり学級での様子をうかがったりして、課題の改善に役立てます。

このような心配があればご相談を

1．発音が正しくできない
- せんせいを「テンテイ」、かがみを「タダミ」というなど発音に誤りがある。
- 発音がはっきりしない。

2．言葉がなめらかに出ない
- 「ぼぼぼくがね」「ぼーーーくがね」「・・・ぼっくがね」など、くり返したり、引き伸ばしたり、つまったりして苦しそうに話す。

3．言葉の発達が遅れている
- 知っている言葉の数が少ない。
- 言葉がうまくつながらない。
- 意味のとれない話をする。
- 他のことに比べて読み書きが苦手である。



通級区域校（１８校）

南町小　みらい青空学園　小竹小　豊玉小　豊玉第二小
豊玉東小　豊玉南小　中村小　中村西小　練馬小
開進第二小　開進第三小　開進第四小
練馬第二小　練馬第三小　向山小　高松小　春日小

学校名　北町西小学校　　学級の名称：ことばの教室　　言語障害学級

校長　風見　由起夫　　副校長　田中　満理子　　所在地　北町７－３－８

１．学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
３	男	６	９	２	６	６	１	30
	女	４	５	４	３	１	１	18
	計	１０	１４	６	９	７	２	48

２．教育目標

ことばの改善を図り、学校生活に適応することを目指し、以下の目標を設定する。
①伸び伸びと話ができる子
②思いやりがあり、友達と仲良くできる子
③よく考え、がんばる子

３．指導の重点（基本方針）

①自立活動を行う。（ことばの課題、心理的な安定）
②個別指導を中心に指導を行う。
③在籍校や保護者と協力・連携を図り、指導を進める。
④専門家の指導助言を受け、児童の実態に応じた適切な指導を進める。

４．週時間割

	月	火	水	木	金	時間帯
	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	8：35～ 8：45
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	8：45～10：15
2						
中休み						10：15～10：45
3	教育相談	自立活動	自立活動	自立活動	教室会議	10：45～12：15
4						
給食・昼休						12：15～13：30
5	自立活動	ブロック会 グループ指導 研修会	自立活動	自立活動	自立活動	13：30～15：00
6	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	15：00～16：30
7						

５．主な行事
学習展示会（１１月中旬～１２月上旬）　　吃音グループ指導（年数回）

６．電　話
学　級　（３９３２）７６３１　　ＦＡＸ　（電話に同じ）
職員室　（３９３２）７２３４　　事務室　（３９３２）７２３５

北町西小学校　ことばの教室紹介

ことばについて心配がある子供たちを個別に指導している教室です。
ことばの改善を図り、子供たちがしっかりと学校生活に適応していくための支援をしています。

ことばの教室に通級するとは

・普段は、それぞれの学校で勉強しながら、週に１～２回程度（１回４５～９０分）時間を決めて、ことばの教室に通います。遅刻・早退・欠席扱いにはなりません。
・１対１の個別指導が中心ですが、必要に応じて小グループで指導することがあります。
・指導は専門の教師が行います。
・通級の際は、保護者の付き添いを原則とします。
・必要に応じて、医師、その他の専門家とも連絡を取り合います。
・在籍校訪問を行い、担任の先生と話し合うことで通級児童についての共通理解を図ります。

このような指導をしています

・・・・・・人と一緒にいると楽しい、聞きたい、話したい、伝えたい・・・・・・
こんな気持ちを育てることが、ことばの発達には最も大切です。
楽しくやり取りしながら、自分からすすんで話す気持ちを育てます。

・発語器官（唇、舌、顎等）の運動機能や、正しい発音と誤った発音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
・伸び伸びとした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を身に付けたりできるようにします。
・ことばの数を増やす、ことばを正しく組み立てることができるようにする、場に合ったことばが使えるようにするなど、ことばの力を伸ばします。
・保護者の方とことばの改善のために必要なことを話し合い、家庭での子供へのよりよい対応について話し合います。
・在籍学級の先生に、ことばの教室での様子を伝えたり学級での様子をうかがったりして、ことばの改善に役立てます。

このようなご心配があればご相談を

1　発音が正しくできない。
・せんせいを「テンテイ」、かがみを「タダミ」など発音に誤りがある。
2　ことばがなめらかに出てこない。
・「ぼぼぼくがね」「ぼーーーくがね」などと、繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりする。
3　ことばの発達に遅れや偏りがある。
・知っていることばの数が少ない。
・ことばがうまくつながらない。
・意味のとれない話し方をする。



通級区域校

開進第一小　練馬東小　仲町小　田柄小　田柄第二小　北町小　北町西小　早宮小

旭町小　光が丘第八小　光が丘四季の香小　光が丘春の風小　光が丘夏の雲小　光が丘秋の陽小

開進第四小（選択校）

学校名　石神井小学校　　学級の名称：ことばの教室　　言語障害学級

校長　椿田　克之　　副校長　菅原　友子　　所在地　石神井台１－１－２５

１　学級数・在籍児童数（令和８年4月現在）

学級数	児童数	１年	2年	3年	4年	5年	6年	計
3	男	4	11	5	5	2	3	30
	女	3	6	4	2	3	1	19
	計	7	17	9	7	5	4	49

２　教育目標

ことばの改善を図り、学校生活に適応することをめざして

① 思いやりがあり、友達と仲良くできる子供に育てる。
② のびのびと話のできる子供に育てる。
③ よく考えて、行動できる子供に育てる。

３　指導の重点（基本方針）

言語障害およびコミュニケーションの障害の状態を改善・克服し、学校、家庭、地域社会での適応をより確かなものにすることをねらいに、

① 実際的な経験などの具体的学習活動を通して、障害の状態の改善・克服の意欲を高める。
② 児童の発達の進んでいる側面を更に促進させることによって、自信と意欲を喚起し、課題となっている側面の伸長や改善に役立てる。
③ 児童が興味を持って主体的に取り組み、成就感を味わうことができるような指導事項を設定する。
④ 指導効果の向上を図るために、在籍学級および家庭との連携を密接にする。
⑤ 適切な指導を行うために、医療機関等、関連諸機関との連携を図る。

４　週時間割

	月	火		水	木	金	土	時間帯
1	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	教育相談 諸会議	8：50~ 10：20
2	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動		
中休み								
3	教育相談	自立活動		自立活動	教室会議 教室研究会	ケース会議		10：40~ 12：10
4		自立活動		自立活動				
給食・昼休								
5	自立活動	都難言	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動		13：30~ 15：00
6	自立活動	ブロック・専門研究会	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動		
7	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	自立活動		15：05~ 16：35
8	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	自立活動		

５　主な年間行事

①夏祭り：体験学習会（7月）　②きこえとことばの発表会（１１月）

６　電　話

学　級（3997）3279　　FAX（3997）3279
職員室（3997）3277　　事務室（3997）3276

石神井小学校 ことばの教室紹介

ことばに心配のある子供たちを個別に指導している教室です。

ことばの教室に通級するとは

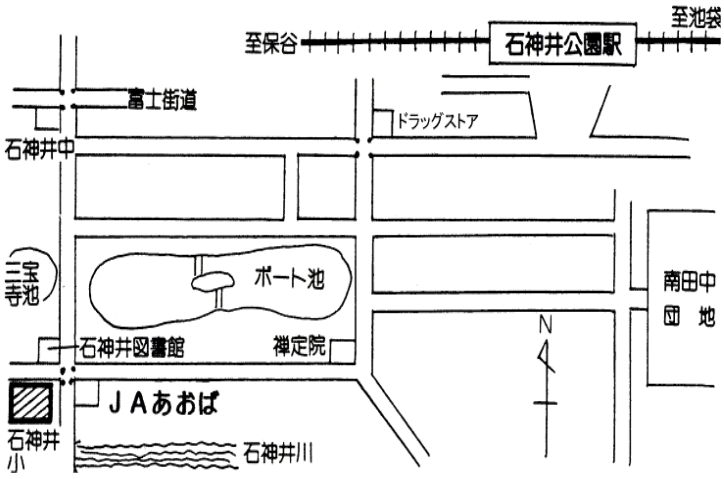
・普段は、それぞれの学校で勉強しながら、週に1～2回程度（1回45～90分）時間を決めて、ことばの教室に通います。遅刻、早退、欠席扱いにはなりません。
・1対1の個別指導が中心ですが、必要に応じて小グループで指導することもあります。
・指導は専門の教師が行います。
・通級の際は、保護者の付き添いを原則とします。
・必要に応じて、医師、その他の専門家とも連絡を取り合います。
・在籍学級訪問を行い、担任の先生と話し合うことで通級児童についての共通理解を図ります。

このような指導をしています

人と一緒にいると楽しい、聞きたい、話したい、伝えたい・・・
こんな気持ちを育てることが、ことばの発達には最も大切です。
楽しくやり取りをしながら、自分からすすんで話す気持ちを育てます。
・発語器官（唇、舌、顎など）の運動機能や、正しい発音と誤った発音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
・のびのびとした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を身に付けたりできるようにします。
・ことばの数を増やす、ことばを正しく組み立てることができるようにする、場に合ったことばが使えるようにするなど、ことばの力を伸ばします。
・保護者の方とことばの改善のために必要なことを話し合ったり、家庭での子供へのより良い対応について話し合ったりします。
・在籍学級の先生に、ことばの教室での様子を伝えたり学級での様子をうかがったりして、ことばの改善に役立てます。

このような心配があればご相談を

1 発音が正しくできない。
・「せんせい」を「テンテイ」、「かがみ」を「タダミ」など発音に誤りがある。
2 ことばがなめらかに出てこない。
・「ぼぼぼくがね」「ぼーーくがね」等と、繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりする。
3 ことばの発達が遅れている。
・知っていることばの数が少ない。
・ことばがうまくつながらない。
・意味のとれない話をする。
・文字の書き誤りがある。漢字を覚えるのが苦手である。



◆ 通級区域校 ◆

石神井小、石神井東小、上石神井北小、
下石神井小、光和小、谷原小、北原小、
南田中小、南が丘小、富士見台小、
上石神井小

学校名　関町北小学校　　学級の名称：ことばの教室　　言語障害学級

校長　原田　知樹　　副校長　髙橋　喜之　　所在地　関町北5－13－40

1．学級数・在籍児童数（令和8年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
2	男	0	2	5	8	2	1	18
	女	0	1	5	2	5	1	14
	計	0	3	10	10	7	2	32

2．教育目標

言語力やコミュニケーション力を高め、学校、家庭、地域社会での適応をより確かなものにすることを目指して

① 思いやりがあり、友達と仲良くできる子供の育成を図る。
② のびのびと話のできる子供の育成を図る。
③ よく考え、行動力のある子供の育成を図る。

3．指導の重点（基本方針）

①自分の気持ちをあるがままに受け止めてもらえた経験を通して、心理的な安定を図り、自己肯定感、自己有能感を育む。
②楽しくやり取りする経験を通して、コミュニケーション意欲を引き出す。
③やり取りに必要な正しい発音、リズム、話速、基本的な言語力、読み書きする力を育てる。
④保護者及び在籍学級担任との連絡を密にし、よりよい援助についての共通理解を図り、環境を調整し、指導効果の向上に努める。

4．週時間割

	月	火		水	木	金	時間帯
1 2	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	8:45～10:15
中休み							
3 4	自立活動	教育相談		教室会議	自立活動	自立活動/ ケース会議	10:45～12:15
給食・昼休							
5 6	自立活動	自立活動	各種研究会	自立活動	自立活動	自立活動	13:25～14:55
7 8	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	15:00～16:30

5．主な年間行事

①夏まつり（7月）　②ことばの発表会（12月）　③春風の集い（3月）

6．電　話

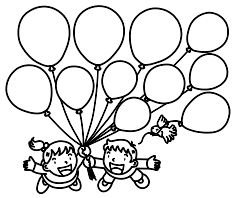
ことば　（3594）1231　　ことばFAX　（3594）1231
職員室　（3920）1027　　事務室　（3920）1026

関町北小学校　ことばの教室　紹介

言葉に心配がある子供たちを個別に指導している教室です

ことばの教室に通級するようになると…

- ふだんは在籍学校で勉強しながら、週に１回程度時間を決めて（45 分～90 分）ことばの教室に通います。遅刻・早退扱いにはなりません。
- 指導は1対1の個別指導を行います。必要に応じてグループで指導することもあります。
- 保護者面談・在籍学級訪問等を行い、保護者・担任の先生と話し合うことで、通級児童についての共通理解を図ります。
- 必要に応じて、医師、言語聴覚士、その他の専門家とも連絡を取り合います。



このような指導をしています

・・・人と一緒にいると楽しい・聞きたい・話したい・伝えたい・・・

こんな気持ちを育てることが、言葉の発達には大切です。

楽しくやり取りしながら、自分から進んで話そうとする気持ちを育てます。

- 発語器官（唇・舌・顎等）の運動機能や、正しい音と誤った音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
- のびのびした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を身に付けたりできるようにします。
- 言葉の数を増やす、言葉を正しく組み立てる、場に合った言葉がつかえるようにする等、言葉の力を伸ばします。
- ひらがな、カタカナ、漢字をスムーズに、正確に読んだり書いたりする力を伸ばしたり、一人一人の児童の実態に合った学び方をしていきます。
- 保護者の方や在籍学級担任の先生と、ことばの教室での様子を伝えたり、学級や家庭での様子をうかがったりして言葉の改善に役立て、子供へのよりよい対応について考えていきます。

このような心配があればご相談を

1. 発音が正しくない。
   - ・「せんせい」を「テンテイ」、「かがみ」を「タダミ」と言うなど、発音に誤りがある。
   - ・発音がはっきりしない。
   - ・声が鼻にかかる。
2. 言葉がなめらかに出ない。
   - ・「ぼ、ぼ、ぼくがね」「ぼ――――くがね」「…ぼっくがね」等と繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりする。
   - ・言おうとしているのに、言葉がなかなか出てこない。
3. 言葉の発達に遅れや偏りがある。
   - ・知っている言葉の数が少ない。
   - ・言葉がうまくつながらない。
   - ・あまりおしゃべりしない。
   - ・やり取りがうまくいかない。
4. 読み書きに心配がある。
   - ・文字を正しくすらすら読むことが苦手。
   - ・文字の書き誤りがある。漢字を覚えるのが苦手。



【通級区域校】

関町北小・関町小・立野小・石神井西小

石神井台小・大泉第二小

学校名　大泉小学校　　学級の名称：ことばの教室　　言語障害学級

校長　小髙　敏男　　副校長　半野田　聡　　所在地　東大泉４－２５－１

１　学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
３	男	０	８	１０	４	５	５	３２
	女	０	３	６	３	２	０	１４
	計	０	１１	１６	７	７	５	４６

２　教育目標

言語力やコミュニケーション力を高め、学校、家庭、地域社会での適応をより確かなものにすることを目指して　①伸び伸びと話ができる子供の育成を図る。
②体験したことや自分の気持ちを相手に伝えられる子供の育成を図る。
③相手の言ったことを理解できる子供の育成を図る。

３　指導の重点（基本方針）

① 自分の気持ちをあるがままに受け止めてもらえた経験を通して、心理的な安定を図り、自己肯定感、自己有能感を育む。
② 確実に楽しくやり取りできた経験を通して、やり取りに対する安心感を育て、コミュニケーション意欲を高める。
③ やり取りに必要な正しい発音、リズム、話速、基本的な言語力を育てる。
④ 保護者及び在籍学級担任との連絡を密にし、よりよい支援についての共通理解を図り、環境を調整し、指導効果の向上に努める。

４　週時間割　　＊グループ指導が入ることがあります。

	月	火		水	木	金	時間帯
1	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	8:50～10:10
2							
中休み							
3	自立活動	自立活動		教育相談	教室会議	ケース会議	10:40～12:00
4							
給食・昼休							
5	自立活動	自立活動	各種研究会	自立活動	自立活動	自立活動	13:25～14:45
6							
7	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動	14:55～16:15
8							

５　主な年間行事

①在籍学校訪問（４月）　②在籍学級訪問（４～６月、随時）　③学習展示会（１１～１２月）
④在籍学級担任授業参観（１１～１２月、随時）

６　電　話

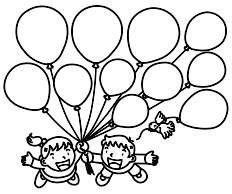
学　級　（３９２４）０２６１　　ＦＡＸ　（３９２４）０２６１
職員室　（３９２４）０１４４　　事務室　（３９２４）０１４５

大泉小学校　ことばの教室　紹介

言葉に心配がある子供たちを個別に指導している教室です

ことばの教室に通級するようになると…

・ふだんは在籍学校で勉強しながら、週に１回程度時間を決めて（45 分～90 分）ことばの教室に通います。遅刻・早退扱いにはなりません。
・指導は1対1の個別指導を行います。必要に応じてグループで指導することもあります。
・保護者面談、在籍学級訪問などを行い、保護者、担任の先生と話し合うことで、通級児童についての共通理解を図ります。
・必要に応じて、医師、言語聴覚士、その他の専門家とも連絡を取り合います。



このような指導をしています

・・・人と一緒にいると楽しい・聞きたい・話したい・伝えたい・・・
こんな気持ちを育てることが、言葉の発達には大切です。
楽しくやり取りしながら、自分からすすんで話そうとする気持ちを育てます。

・発語器官（唇・舌・顎）の運動機能や、正しい音と誤った音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
・伸び伸びした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を学習したりします。
・言葉の数を増やす、言葉を正しく組み立てる、場に合った言葉を使えるようにするなど、言葉の力を伸ばします。
・一人一人に合った学習方法で、読んだり書いたりする力を高めます。
・保護者の方や在籍学級の先生にことばの教室での様子を伝えたり、学級や家庭での様子をうかがったりして言葉の改善に役立て、子供へのよりよい対応について考えていきます。

このような心配があればご相談を

1　発音が正しくない

・「せんせい」を「テンテイ」、「かがみ」を「タダミ」と言うなど、発音に誤りがある。
・発音がはっきりしない。
・声が鼻にかかる。

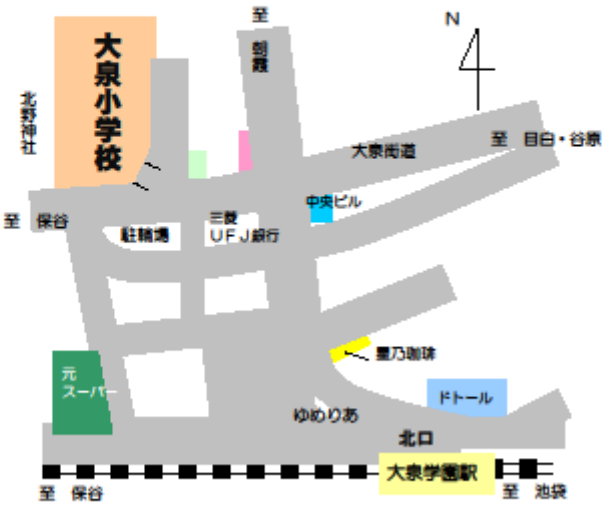
2　吃音がある（言葉がなめらかに出てこない）

・「ぼ、ぼ、ぼくがね」「ぼ――くがね」「…ぼっくがね」などと繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりする。
・言おうとしているのに、言葉がなかなか出てこない。

3　言葉の発達が遅れている

・知っている言葉の数が少ない。
・話したいことがうまく表現できない。
・指示が理解できない。

【通級区域校】
大泉小・大泉第一小・大泉第三小・大泉第四小
大泉第六小・大泉東小・大泉西小・大泉南小
大泉北小・大泉学園小・大泉学園緑小
大泉桜学園・泉新小・橋戸小・豊溪小・八坂小



学校名　中村西小学校　　学級の名称：目の教室　　弱視通級指導学級

校長　工藤（くどう）　智昭（ともあき）　　副校長　関（せき）　淳二（じゅんじ）　　所在地　中村北４－１７－１

開設　昭和５０年4月1日

１　学級数・在籍児童数（令和８年４月１日現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
1	男	1	1	0	0	1	1	5
	女	0	0	1	1	1	2	4
	計	1	1	1	1	2	3	9

２　教育目標

★たくさんの友達をつくろう　　★進んでよく見て　よく知ろう
★好きなことを見つけよう　　★自分の見え方を知ろう

３　指導の重点（基本方針）

〇弱視の児童一人一人の実態に応じた個別指導計画を編成し、一人一人が目標や課題をもち、達成できるように支援する。
〇教材研究、指導方法および評価について創意工夫を加え、児童が意欲をもち、楽しく充実した活動ができるように支援する。
〇在籍校、在籍学級との連携を密にし、クラスにおける良好な人間関係が作れるように、より効果的な指導を行う。また、弱視児童本人が障害を理解し、在籍校、在籍学級においては、周囲の児童が障害について正しい理解を得られるような指導を行う際の支援をする。

４　週時間割

	月	火	水	木	金
1	自立活動・教科に応じた特別の指導				
2					
中休み					
3	自立活動・教科に応じた特別の指導				
4					
給食・昼休み					
5	自立活動・教科に応じた特別の指導				
6					

児童の実態に応じて、週2～4時間の授業を行う。

５　主な年間行事

（1）学級全員が集う学習会（年３回）同時開催保護者会・参観
（2）在籍学級訪問、在籍学級担任との情報交換会（学期に1回）
（3）個人面談（１・３学期　全員面談／２学期　希望者面談）

６　電　話

学　級（3990）4254　　職員室（3990）4237　　ＦＡＸ（3577）7683

中村西小学校　目の教室

お子さんの　こんなことにお困りではありませんか？

・極端（きょくたん）に目を近づけて本やテレビを見る。

・画数の多い漢字や細かい目盛り、地図などを見ると疲れるのが早い。

・本を読むとき、行をとばしたり、読み違えたりする。

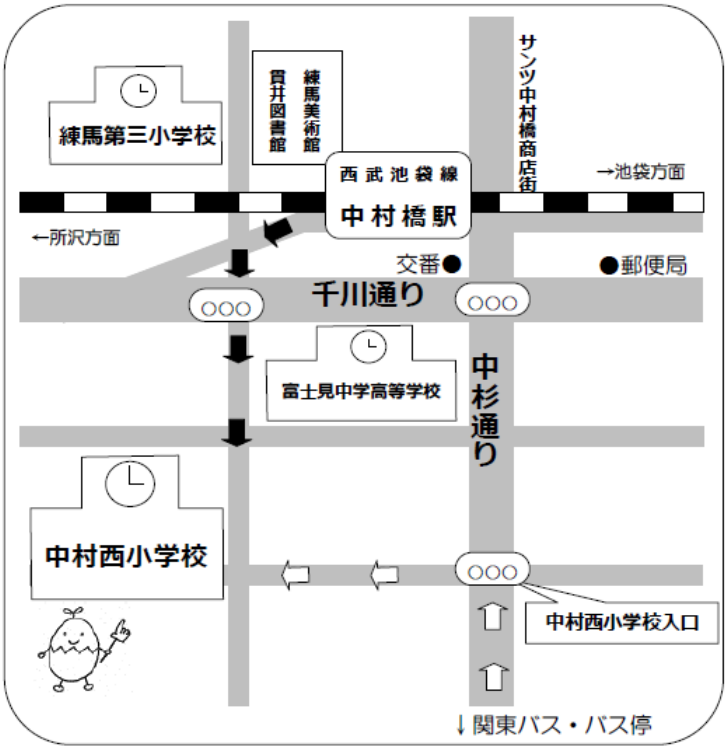
・階段や暗い所（雨の日・夜など）で、つまずきやすい。

・ボール運動で、ボールがどこから飛んでくるかわからない。

中村西小学校の【目の教室】は、「通級による指導」を行っている弱視通級指導学級です。地域の学校に在籍しながら、見えにくさに対応した個別の支援を受けられます。（実態に応じて、週２～４時間の自立活動・教科に応じた特別の指導をします。通級した日は在籍校の出席になります。）

見やすくする工夫や、よく見る練習をすることで学習の様子がずいぶん変わってきます。見学、体験入学等希望される時は、お気軽にお電話でご相談ください。

アクセス



交通機関

●西武池袋線・中村橋駅下車徒歩６分

●西武新宿線・鷺ノ宮駅下車

関東バス「中村橋駅行き」７分

【阿 01・荻 06 中村橋】

「中村三丁目」バス停下車　徒歩５分

●JR 中央線・阿佐ヶ谷駅下車

北口２番乗り場より

関東バス「中村橋駅行き」15 分

【阿 01 中村橋】

「中村三丁目」バス停下車　徒歩５分

●JR 中央線・荻窪駅下車

北口３番乗り場より

関東バス「中村橋駅行き」25 分

【荻 06 中村橋】

「中村三丁目」バス停下車　徒歩５分

近隣の国・公・私立特別支援学校一覧

種別	学校名	所在地	電話	区分
視覚	都立久我山青光学園	〒157-0061 世田谷区北烏山4-37-1	03-3300-6235	幼・小・中
	都立文京盲学校	〒112-0004 文京区後楽1-7-6	03-3811-5714	高
	筑波大学附属視覚特別支援学校	〒112-0015 文京区目白台3-27-6	03-3943-5421	幼・小・中 高・専
聴覚	都立大塚ろう学校	〒170-0002 豊島区巣鴨4-20-8	03-3918-3347	幼・小
	都立中央ろう学校	〒168-0073 杉並区下高井戸2-22-10	03-5301-3034	中・高
肢体	都立大泉特別支援学校	〒178-0061 練馬区大泉学園町9-3-1	03-3921-1381	小・中・高
	都立北特別支援学校	〒114-0033 北区十条台1-1-1	03-3906-2321	小・中・高
	筑波大学附属桐が丘特別支援学校	〒173-0037 板橋区小茂根2-1-12	03-3958-0181	小・中・高
知的	都立高島特別支援学校	〒175-0082 板橋区高島平3-7-2	03-3938-0415	小・中
	都立石神井特別支援学校	〒177-0045 練馬区石神井台8-20-35	03-3929-0012	小・中
	都立板橋特別支援学校	〒175-0082 板橋区高島平9-23-22	03-5398-1221	高
	都立練馬特別支援学校	〒179-0075 練馬区高松6-17-1	03-5393-3524	高
	筑波大学附属大塚特別支援学校	〒112-0003 文京区春日1-5-5	03-3813-5569	幼・小・中 高
	東京学芸大学附属特別支援学校	〒203-0004 東久留米市氷川台1-61	042-471-5274	幼・小・中 高
	私立旭出学園	〒178-0063 練馬区東大泉7-12-16	03-3922-4134	幼・小・中 高・専
知的 肢体 併設	都立永福学園	〒168-0064 杉並区永福1-7-28	03-3323-1380	高(知的) 小・中・高 (肢体)
	都立志村学園	〒174-0045 板橋区西台1-41-10	03-3931-2323	高(知的) 小・中・高 (肢体)

練馬区教育委員会　事務局
教育振興部　教育福祉課
就学相談係　　電話　５９８４－５６６４（直通）